

# コロナ下における子育て 世帯への影響調査結果報告

令和 3 年 7 月  
墨 田 区

# 目次

調査概要	P.3
1. 属性	
Q1 就学前のお子さんとの関係を教えてください。	P.4
Q1 - 2 あなたの年齢を教えてください。	P.4
Q1 - 3 就学前のお子さんの人数を教えてください。	P.4
Q1 - 4 お住まいの町名を教えてください。	P.4
Q2 就学前のお子さんの保護者はどなたですか。	P.5
Q3 同居しているお子さんの人数を教えてください。	P.5
Q4 年齢別・保育施設等の利用状況	P.5
Q5 保護者の現在の就労状況をお答えください。	P.6
Q6 新型コロナウイルス感染症のまん延後、保護者が自宅でテレワークを実施しましたか。	P.6
Q7 自宅でテレワークを実施した保護者はどなたですか。	P.6
Q8 緊急事態宣言期間中（令和2年4月～5月）のお子さんの保育について教えてください。	P.7
2. 子どもへの影響	
Q9 新型コロナウイルス感染症のまん延後、保育施設等の休園や外出自粛等により生活状況が変化したことで、お子さんの心身にどのような影響がありましたか。	P.8
Q10 良い影響の具体的な内容を教えてください。	P.9
Q11 悪い影響の原因として、あてはまると思うものをお答えください。	P.10
3. 子どもへの支援	
Q12 コロナ下でお子さんの心身の健康を維持するために、区に求める子育て支援・サービスを教えてください。	P.11,12
4. 保護者への影響	
Q13 新型コロナウイルス感染症の流行前と流行後の子育てへの感じ方の変化について教えてください。	P.13
Q14 保護者の兄弟姉妹又は祖父母との同居・近居等により、子育てを支援してもらえる環境にありますか。	P.14
Q15 - 1 子育てに自信が持てないと感じることがある。	P.15
Q15 - 2 子育てに不安や孤独を感じることをある。	P.16
Q16 新型コロナウイルス感染症の流行前と流行後の子育てに対するストレスの変化について教えてください。	P.17
Q17 その原因として、あてはまると思うものをお答えください。	P.18,19
5. 保護者の子育ての相談状況	
Q18 新型コロナウイルス感染症の流行前と流行後の子育てに関する他人への相談状況について教えてください。	P.20,21
Q19 相談した相手を教えてください。	P.22
Q20 相談しなかった（又は相談回数が減った）理由を教えてください。	P.23
Q21 相談相手として望ましい相手はどなたですか。	P.24,25
6. 子育てに関する区の相談窓口	
Q22 子育てに関する区の相談窓口があることを知っていますか。	P.26
Q23 子育てに関する区の相談窓口を利用したいですか。	P.27
Q24 「利用したくない」又は「どちらともいえない」を選択した理由として、あてはまるものをお答えください。	P.28
7. 保護者への支援	
Q25 コロナ下の子育てに関して、区に求める支援・サービスを教えてください。	P.29,30
報告内容まとめ	P.31

# 調査概要

## 1 調査目的

新型コロナウイルス感染症のまん延に伴う生活の変化（保育施設等の休園、小・中学校の休校、テレワークの実施等による働き方の変化、外出自粛の要請）が子育て家庭に与えた影響とコロナ下において必要な子育て支援策を明らかにすること。

## 2 調査方法

インターネット（区ホームページ）上のアンケートフォームによる調査

## 3 対象者

小学校入学前（就学前）の0歳から6歳の子どもを持つ、区内在住の保護者

## 4 調査期間

令和3年4月12日（月）～5月9日（日）

## 5 回答者数

688人

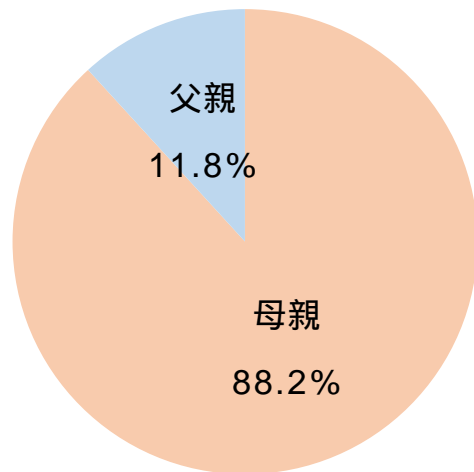
## 6 調査の精度

誤差 $\pm 4.80\%$ 、信頼度99%、母集団14,343（就学前の子どもの保護者[令和3年4月1日現在]）、有効回答数688

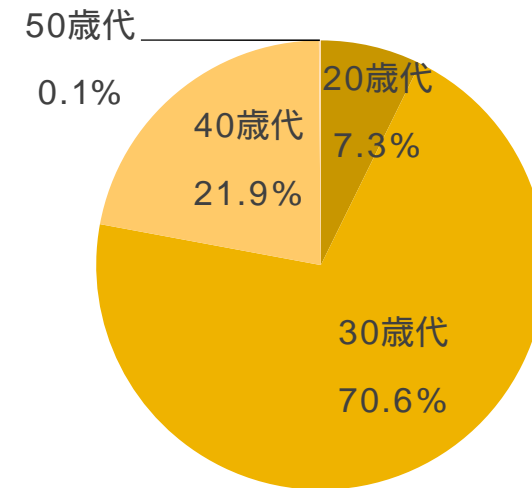
調査結果と真の値との差は99%の確率で4.80%以内にあると予測できます。ある選択肢の回答率が50%という調査結果が得られた場合、真の値は99%の確率で45.20%～54.80%の間にあるということになります。

# 1. 属性

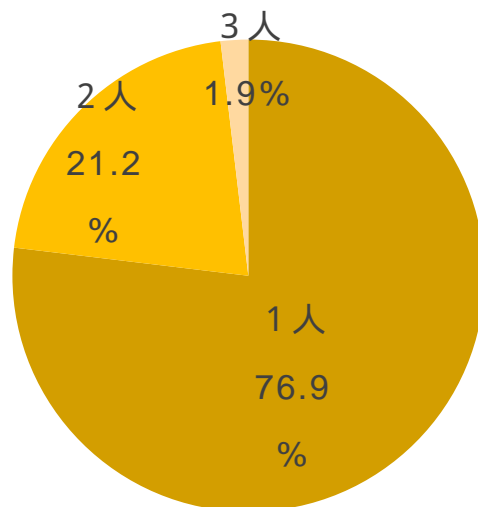
Q 1 就学前のお子さんとの関係を教えてください。[n688]



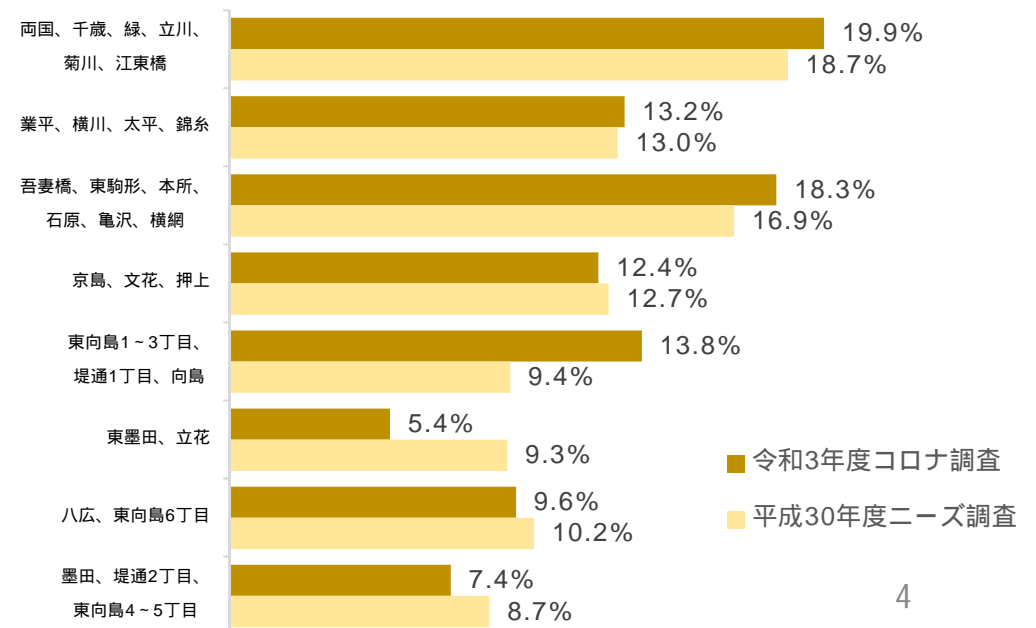
Q 1 - 2 あなたの年齢を教えてください。[n688]



Q 1 - 3 就学前のお子さんの人数を教えてください。[n688]

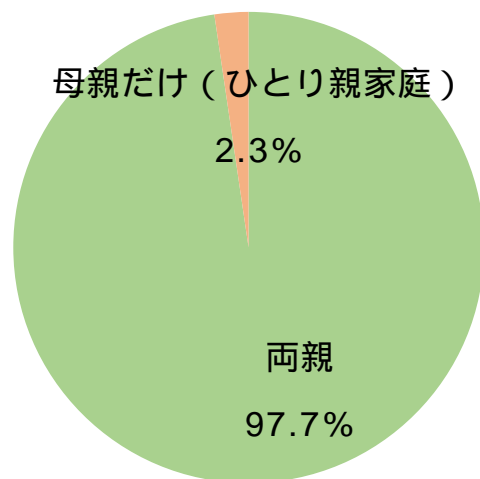


Q 1 - 4 お住まいの町名を教えてください。[n688]

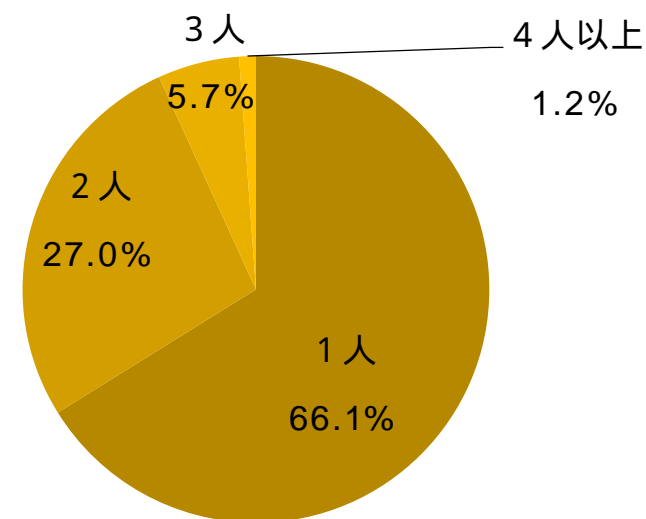


# 1. 属性

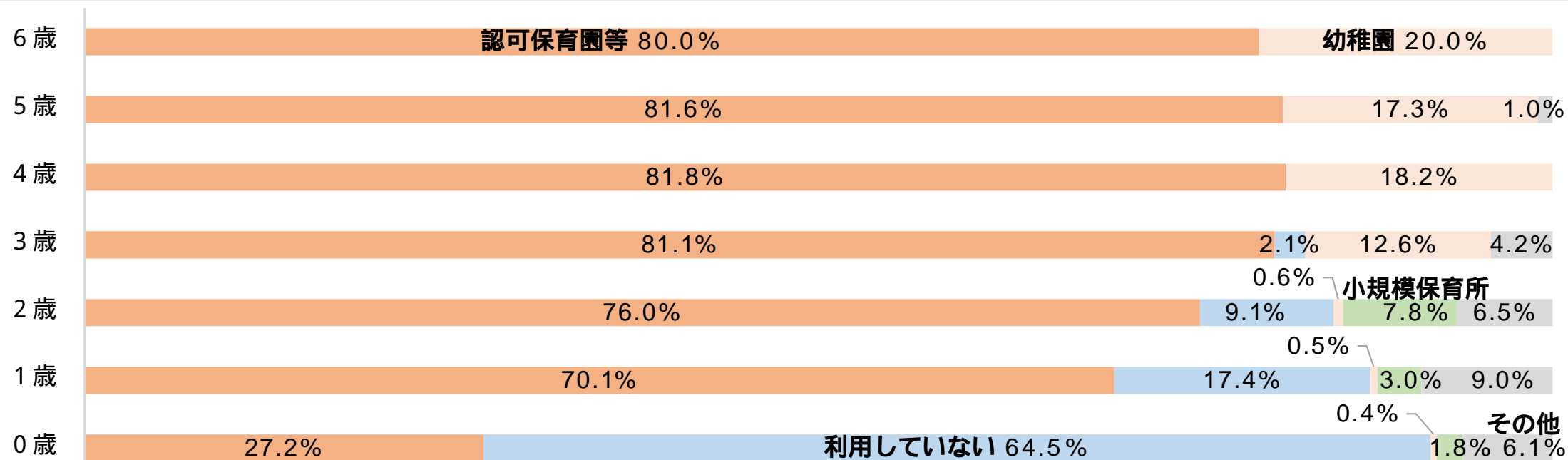
Q2 就学前のお子さんの保護者はどなたですか。 [n688]



Q3 同居しているお子さんの人数を教えてください。 [n688]

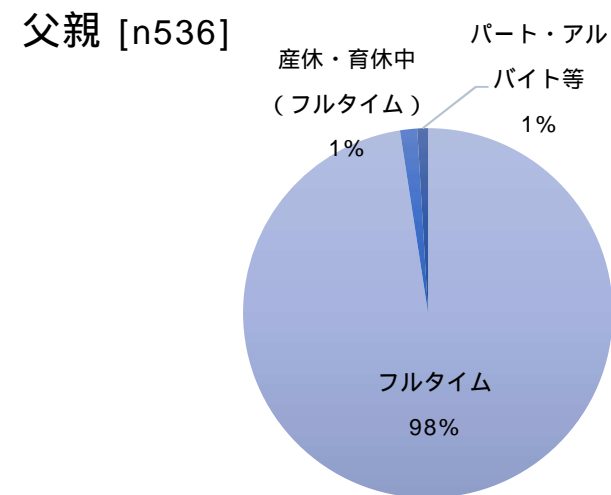
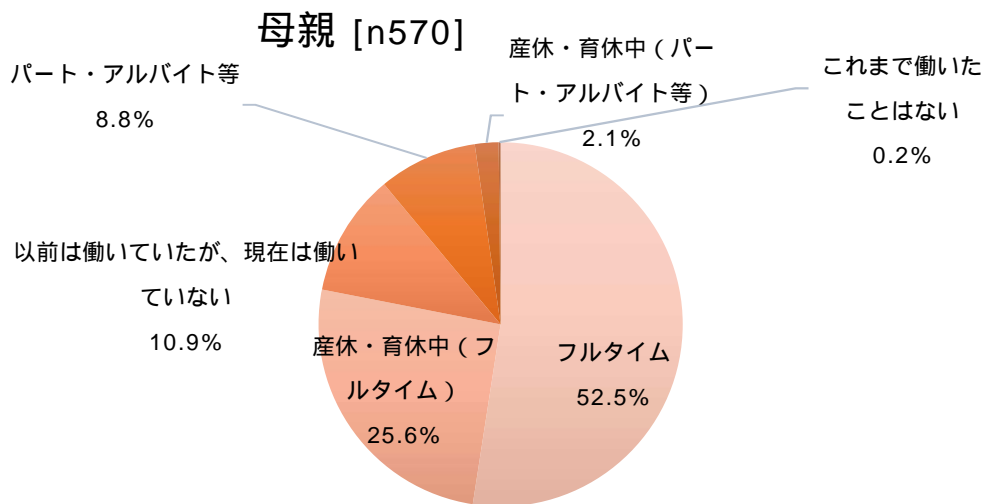


Q4 年齢別・保育施設等の利用状況 [n688]

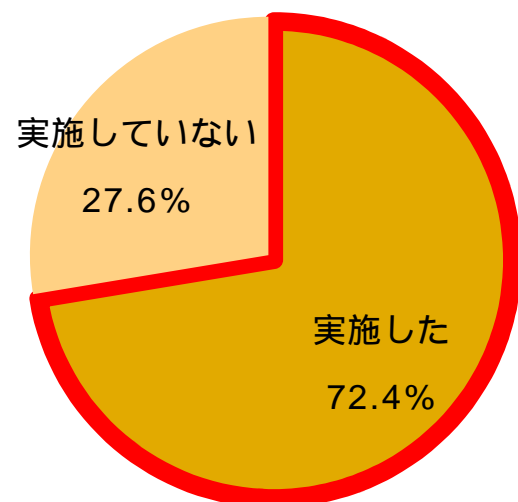


# 1. 属性

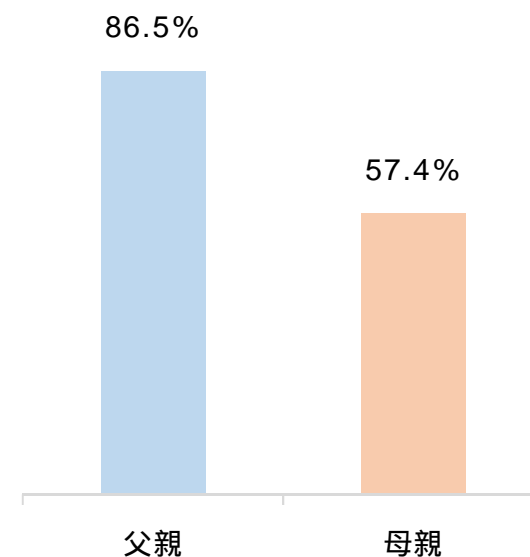
Q5 保護者の現在の就労状況をお答えください。



Q6 新型コロナウイルス感染症のまん延後、保護者が自宅でテレワークを実施しましたか。 [n688]

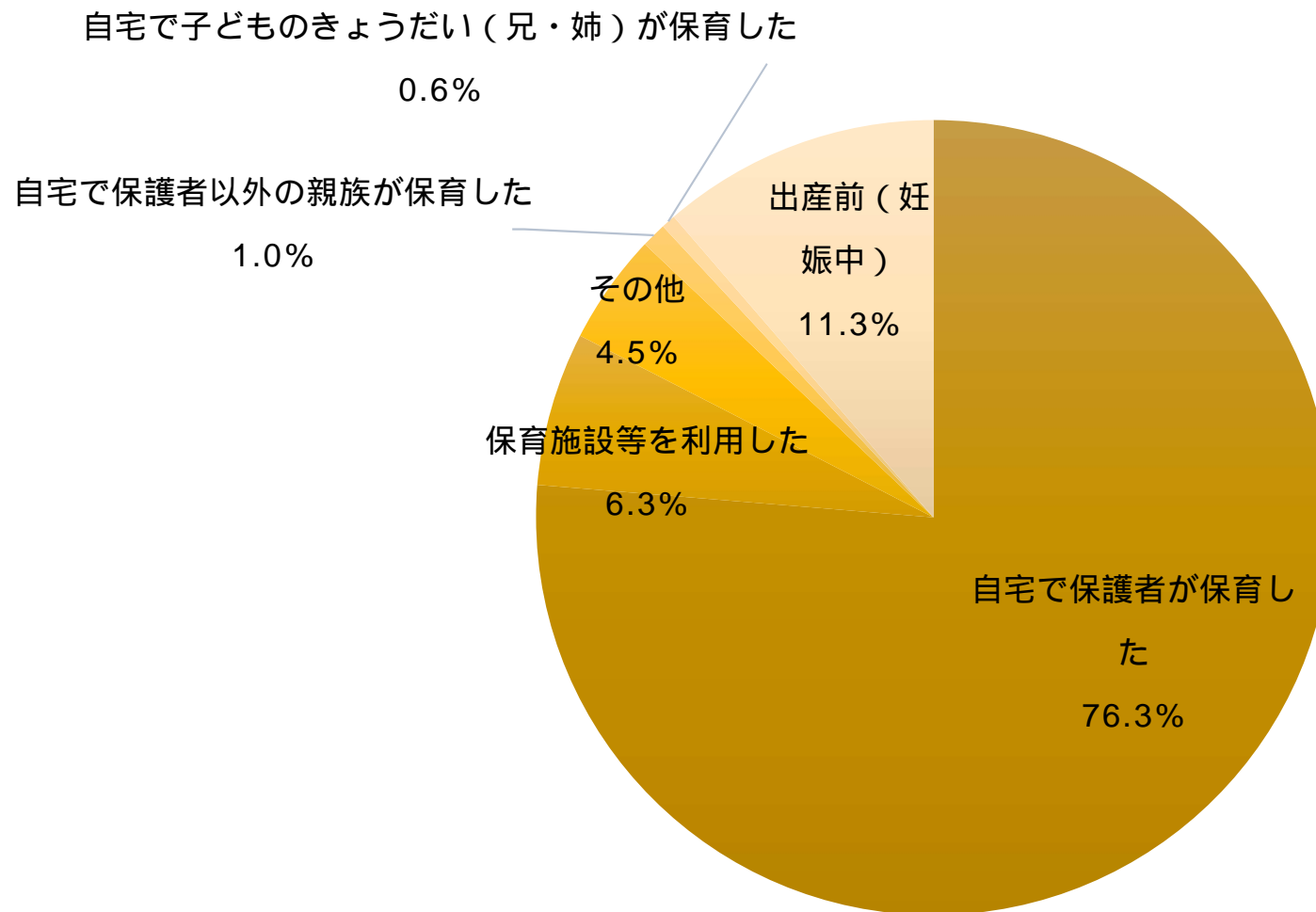


Q7 自宅でテレワークを実施した保護者はどなたですか。  
（Q6で「実施した」を選択した回答者のみ） [n498]



# 1 . 属性

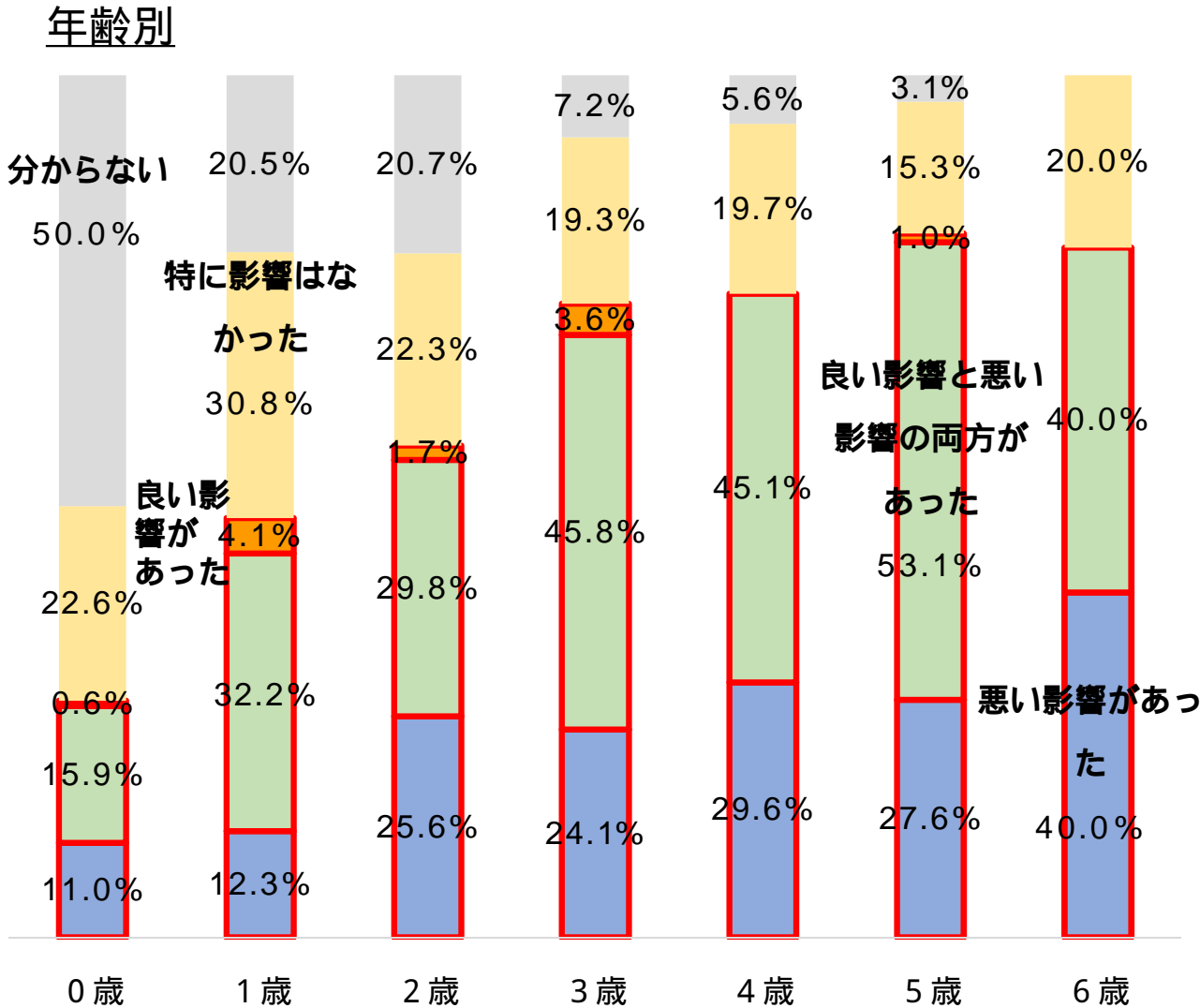
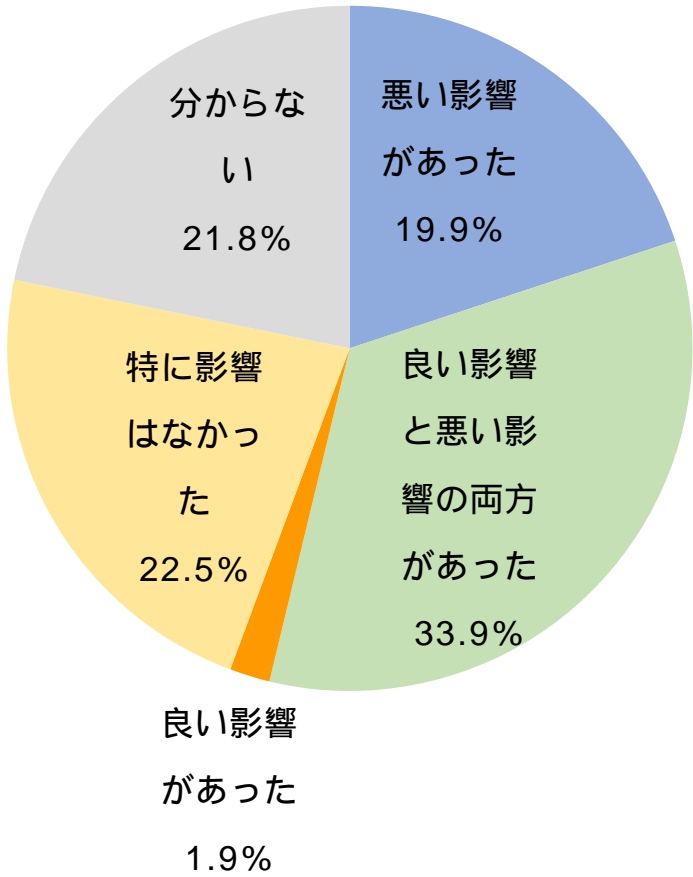
Q 8 緊急事態宣言期間中（令和2年4月～5月）のお子さんの保育について教えてください。 [n688]



## 2 . 子どもへの影響

年齢が上がるにつれて、影響（良い影響又は悪い影響）があった割合が高くなっている

Q9 新型コロナウイルス感染症のまん延後、保育施設等の休園や外出自粛等により生活状況が変化したことで、お子さんの心身にどのような影響がありましたか。 [n688]

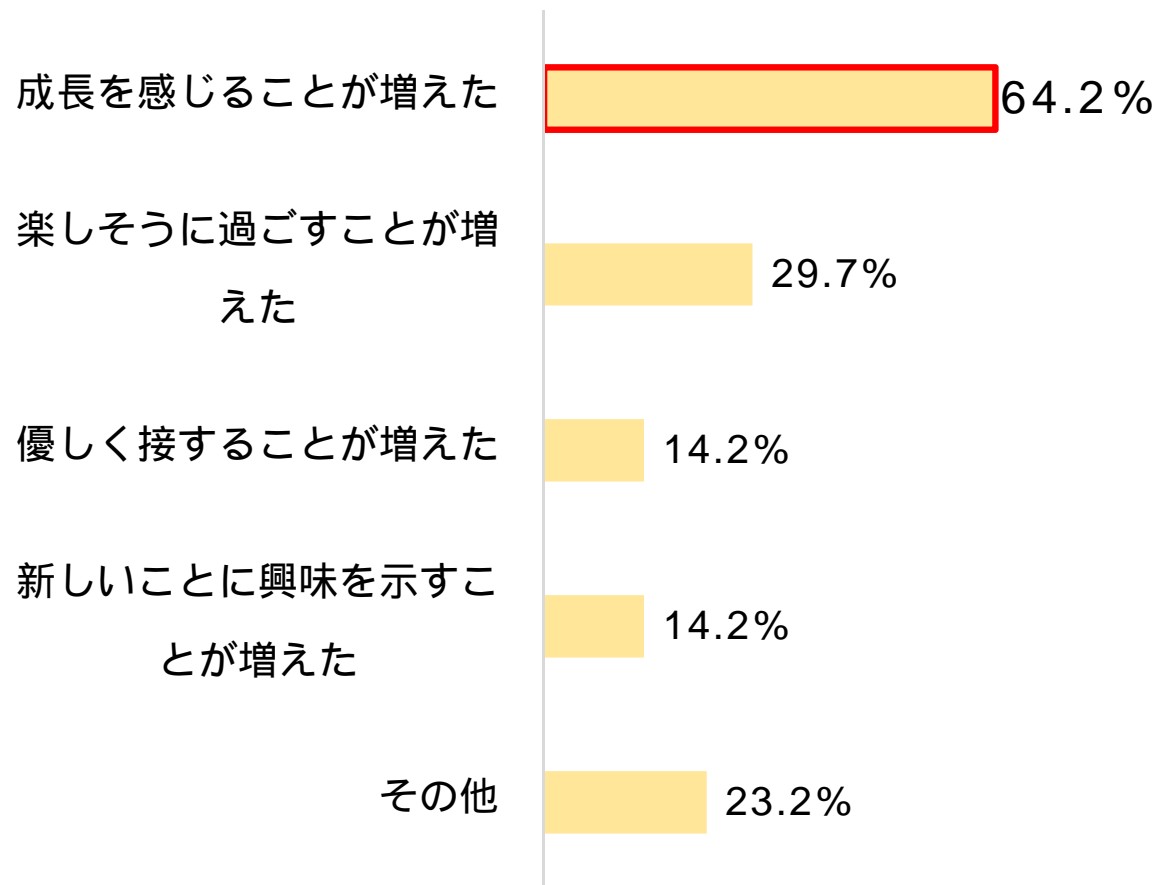




## 2. 子どもへの影響

子どもの心身に良い影響があったと回答した方のうち、子どもの成長を感じることが増えたと回答した方が6割以上

Q10 良い影響の具体的な内容を教えてください。（Q9で「良い影響があった」又は「良い影響と悪い影響の両方があった」を選択した回答者のみ）[n246]



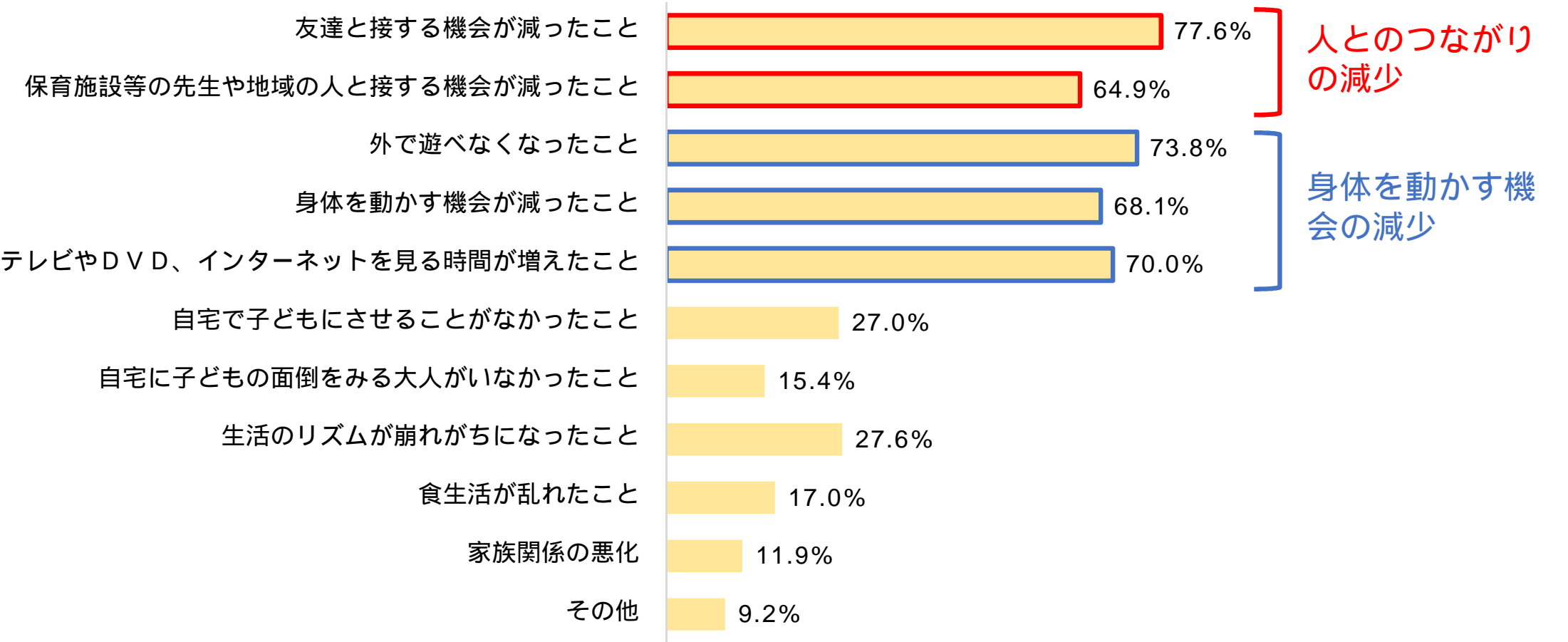
### 【「その他」の回答内容】

- ・家族と過ごす時間が増えて、家族の仲が深まった。
- ・風邪を引かなくなった。
- ・新しいことに挑戦することができた。
- ・ゆっくりと過ごすことができた。情緒が安定した。
- ・規則正しい生活を送れるようになった。

## 2. 子どもへの影響

悪い影響の原因として、人とのつながりの減少と身体を動かす機会の減少が主な原因となっている。

Q11 悪い影響の原因として、あてはまると思うものをお答えください。（Q9で「悪い影響があった」又は「良い影響と悪い影響の両方があった」を選択した回答者のみ）[n370]



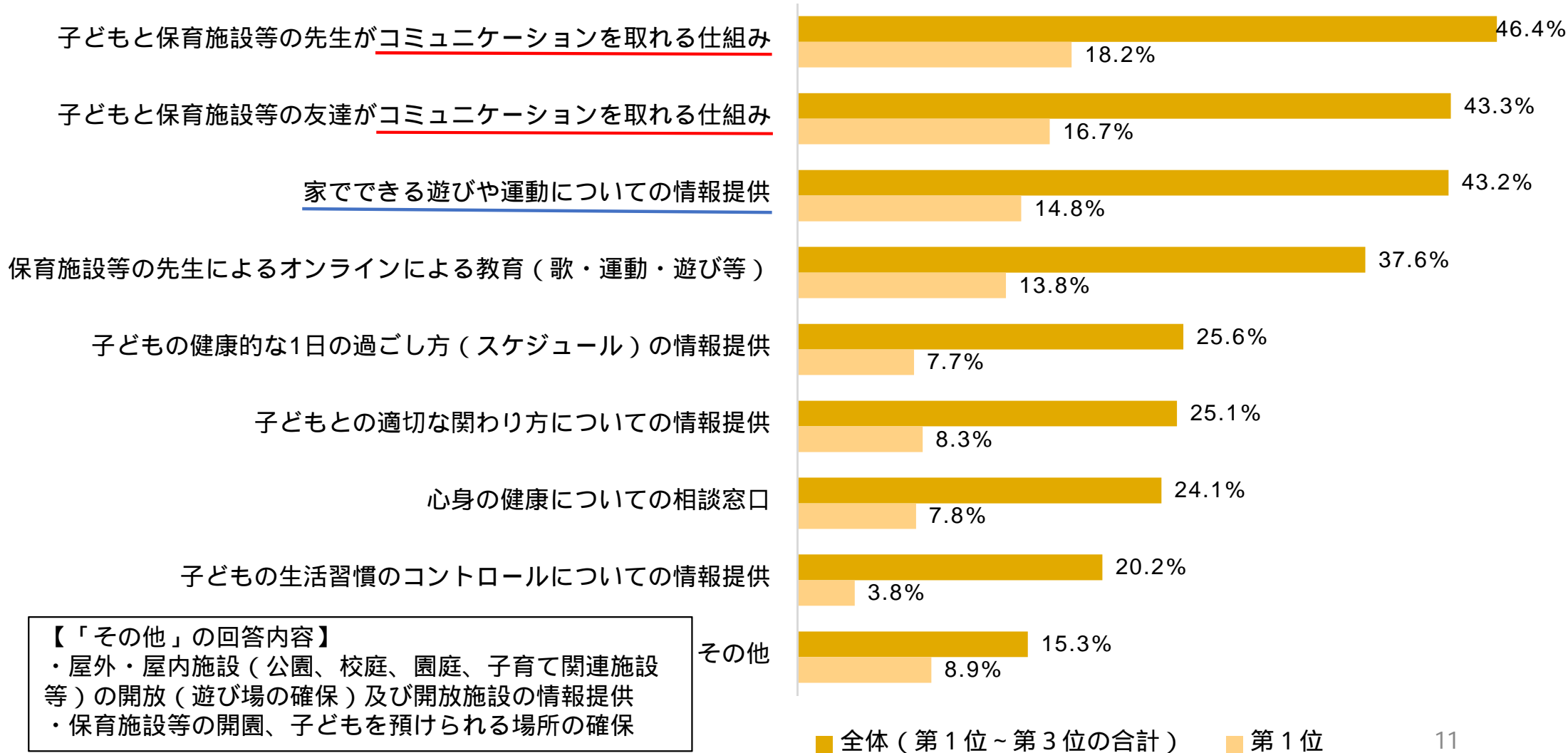
### 【「その他」の回答内容】

- ・やりたいことを我慢させることが多くなったこと
- ・近隣への物音の配慮のため、自宅で静かに過ごさせたこと
- ・親と一緒にいても、テレワークのため構ってあげられなかったこと

### 3. 子どもへの支援

先生や友達とのコミュニケーションを取れる仕組みが最も高く、次いで家での遊びや運動の情報提供が求められている。

Q12 コロナ下でお子さんの心身の健康を維持するために、区に求める子育て支援・サービスを教えてください。（優先順位が高い順に、最大で3つ）1 / 2 [n688]

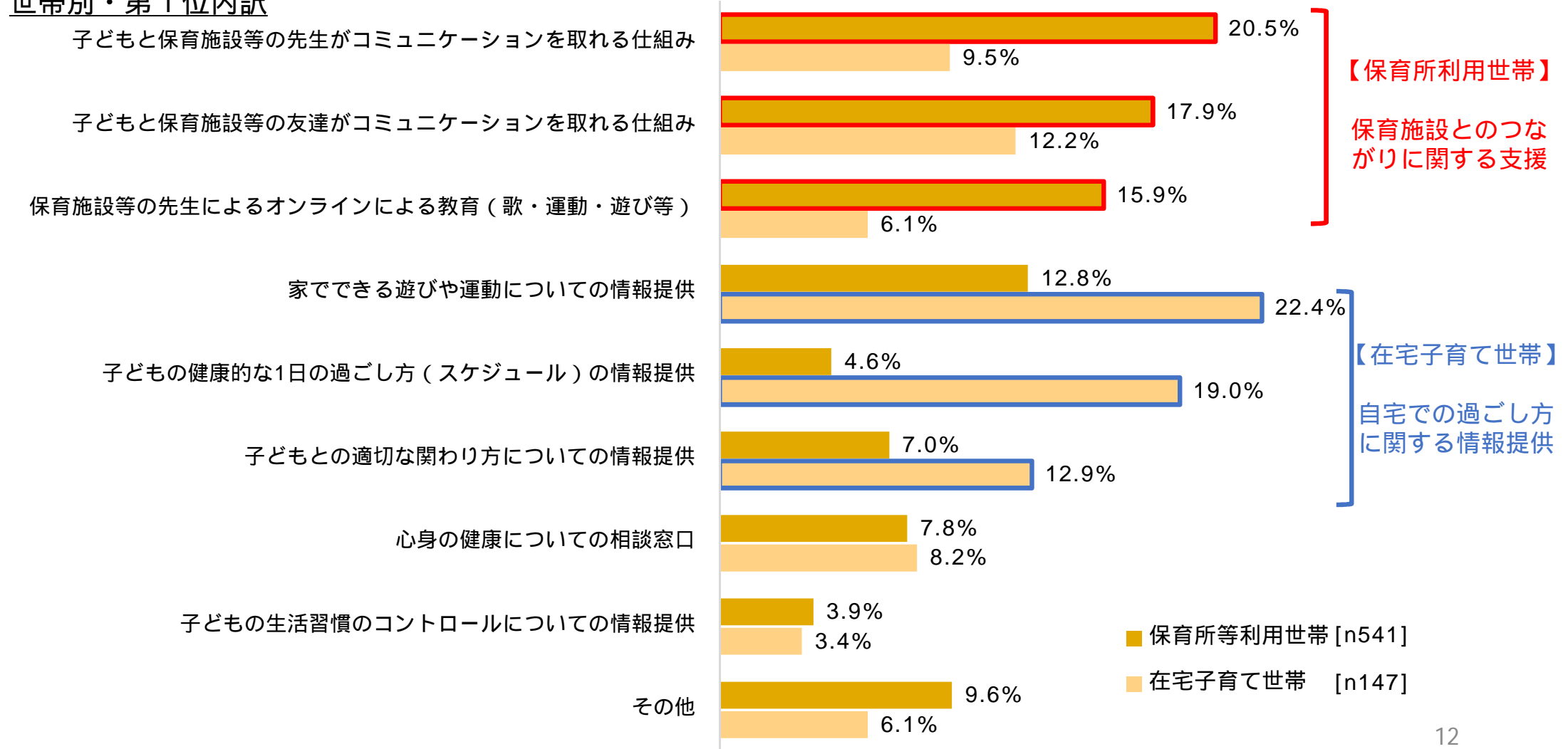


### 3 . 子どもへの支援

保育所等利用世帯は、保育施設とのつながりに関する支援が求められており、在宅子育て世帯は、自宅での過ごし方に関する情報提供が求められている。

Q 1 2 コロナ下でお子さんの心身の健康を維持するために、区に求める子育て支援・サービスを教えてください。（優先順位が高い順に、最大で3つ） 2 / 2

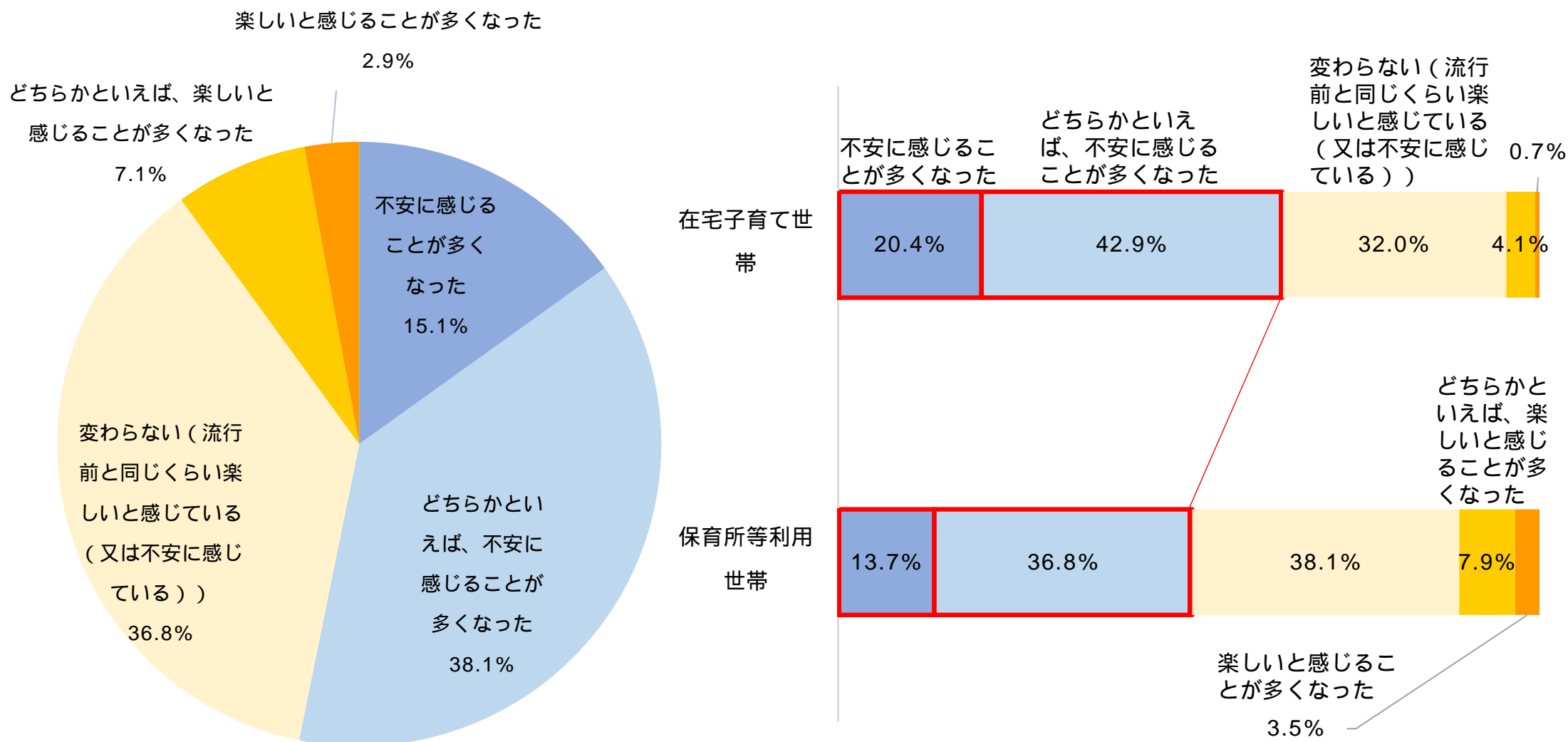
#### 世帯別・第1位内訳



## 4 . 保護者への影響

保育所等利用世帯よりも在宅子育て世帯の方が、不安を感じることが多くなったと回答している方の割合が高い。

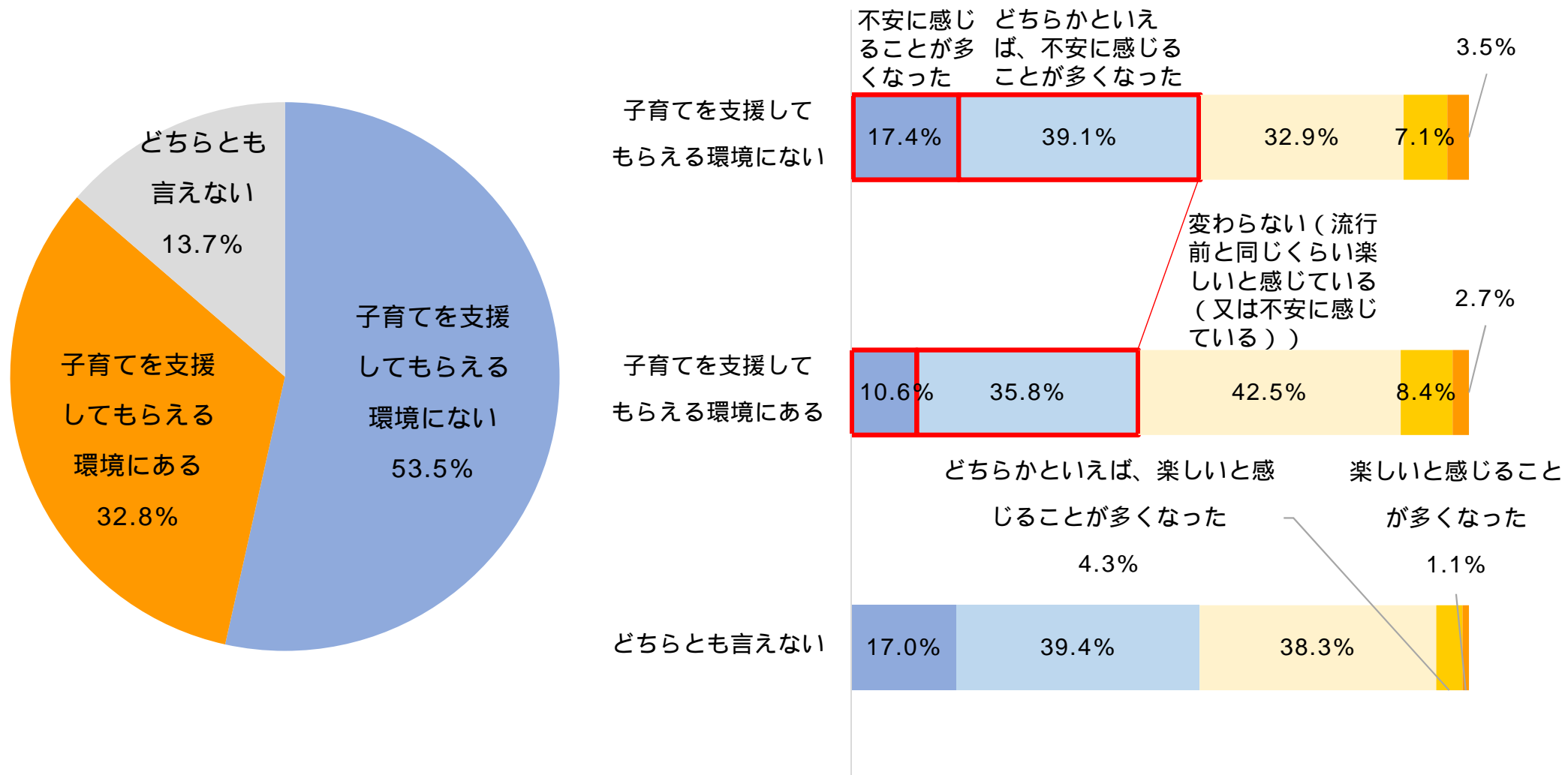
Q 1 3    新型コロナウイルス感染症の流行前と流行後の子育てへの感じ方の変化について教えてください。 [n688]



## 4 . 保護者への影響

子育てを親族に支援してもらえる環境にない世帯は、支援してもらえる環境にある世帯に比べて不安に感じることが多くなった割合が高い。

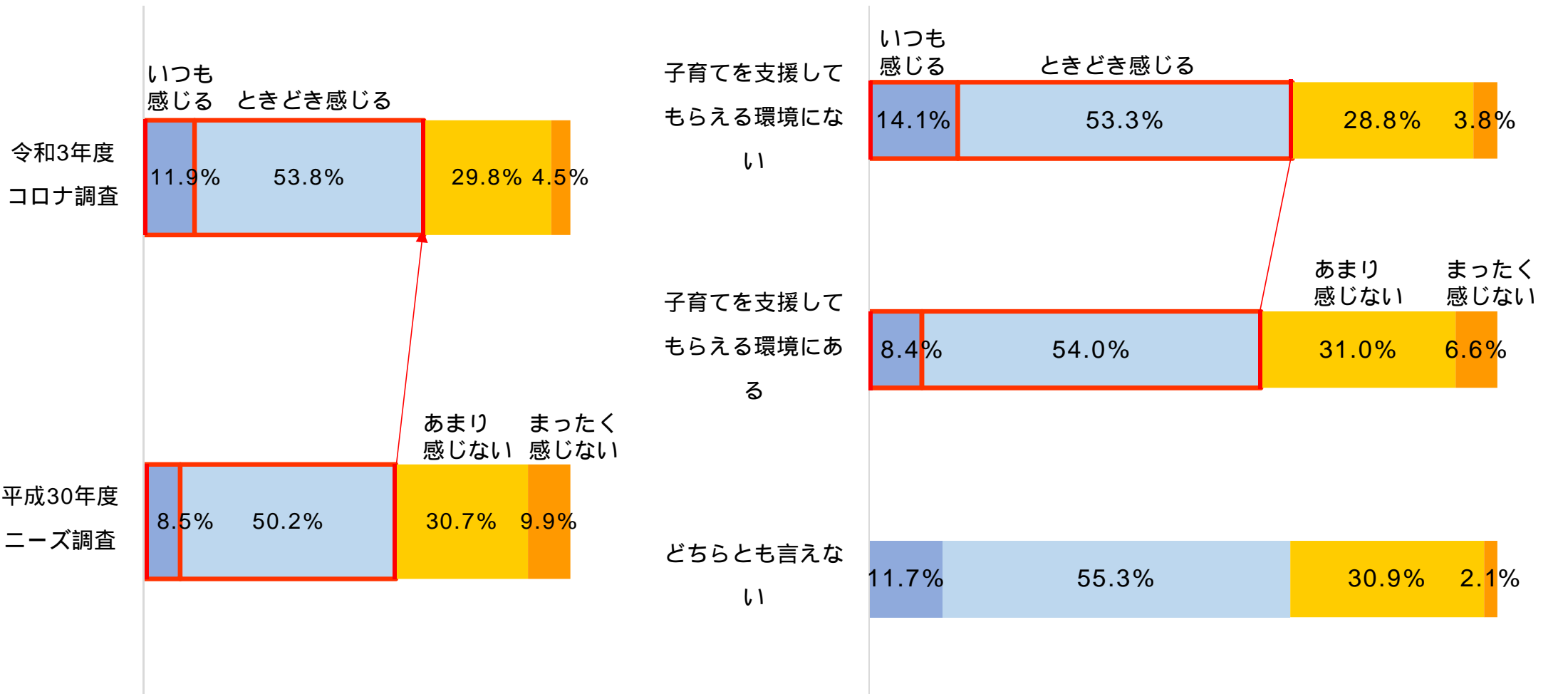
Q 1 4 保護者の兄弟姉妹又は祖父母との同居・近居等により、子育てを支援してもらえる環境にありますか。 [n688]



## 4 . 保護者への影響

平成30年度調査時よりも、自信が持てないと感じる割合が若干増加している。子育てを親族に支援してもらえる環境にない世帯は、他の世帯よりも子育てに自信が持てないと感じる割合が高い

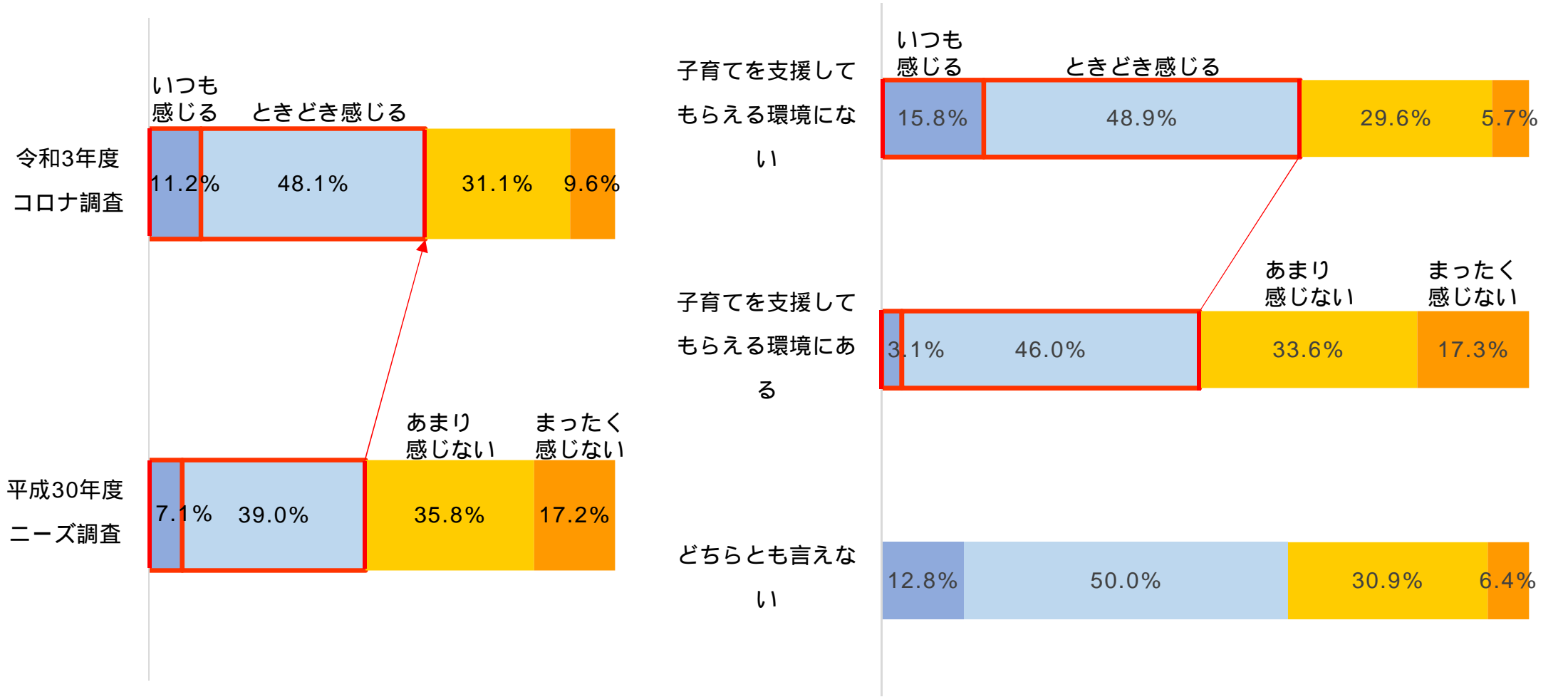
Q15-1 子育てに自信が持てないと感じることがある。 [n688]



## 4 . 保護者への影響

平成30年度調査時よりも子育てに不安や孤独を感じる割合の増加が顕著である。子育てを支援してもらえる環境にない世帯は、他の世帯に比べ不安や孤独を感じる割合が高い。

Q15-2 子育てに不安や孤独を感じることもある。 [n688]

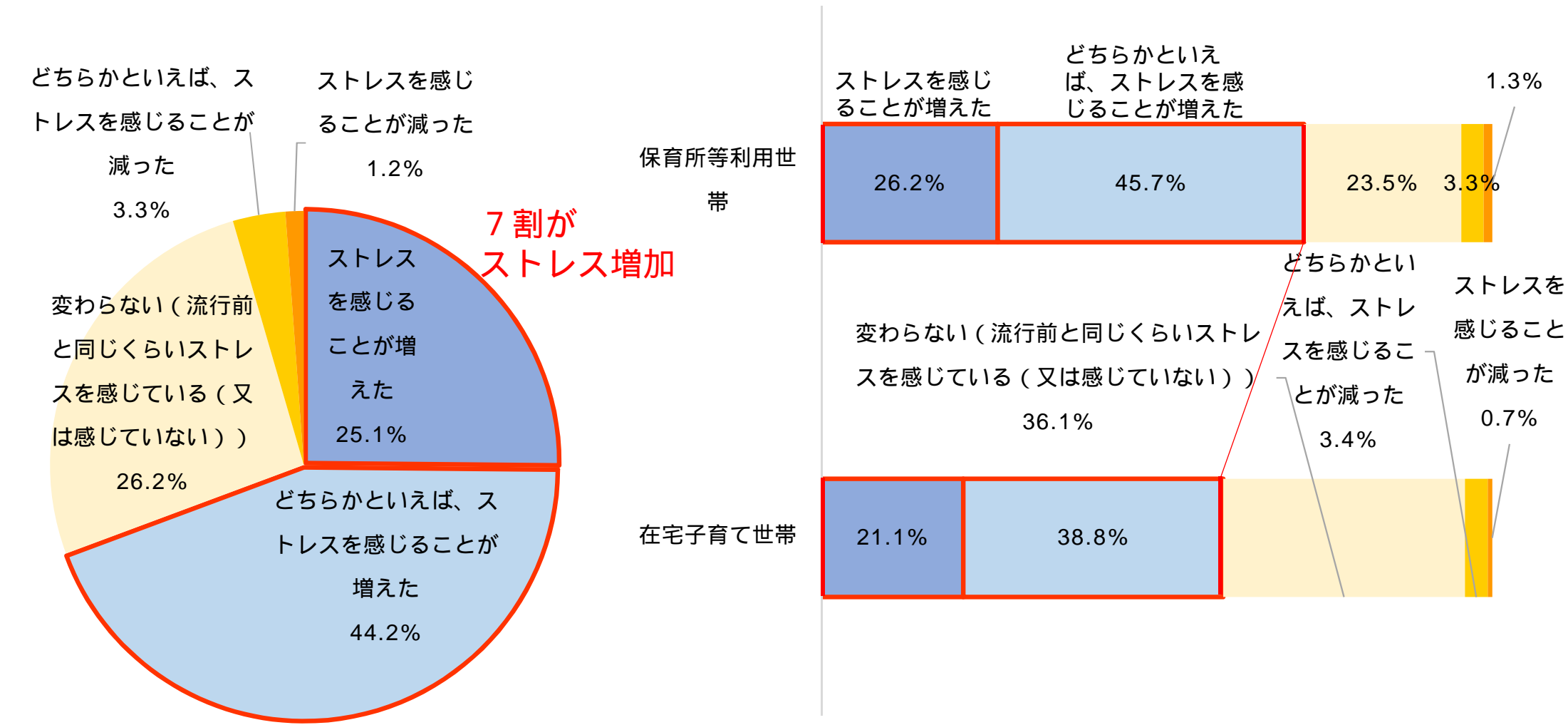




## 4 . 保護者への影響

回答者の約7割が子育てに対するストレスが増加している。在宅子育て世帯よりも保育所等利用世帯の方が、ストレスを感じる割合が高い。

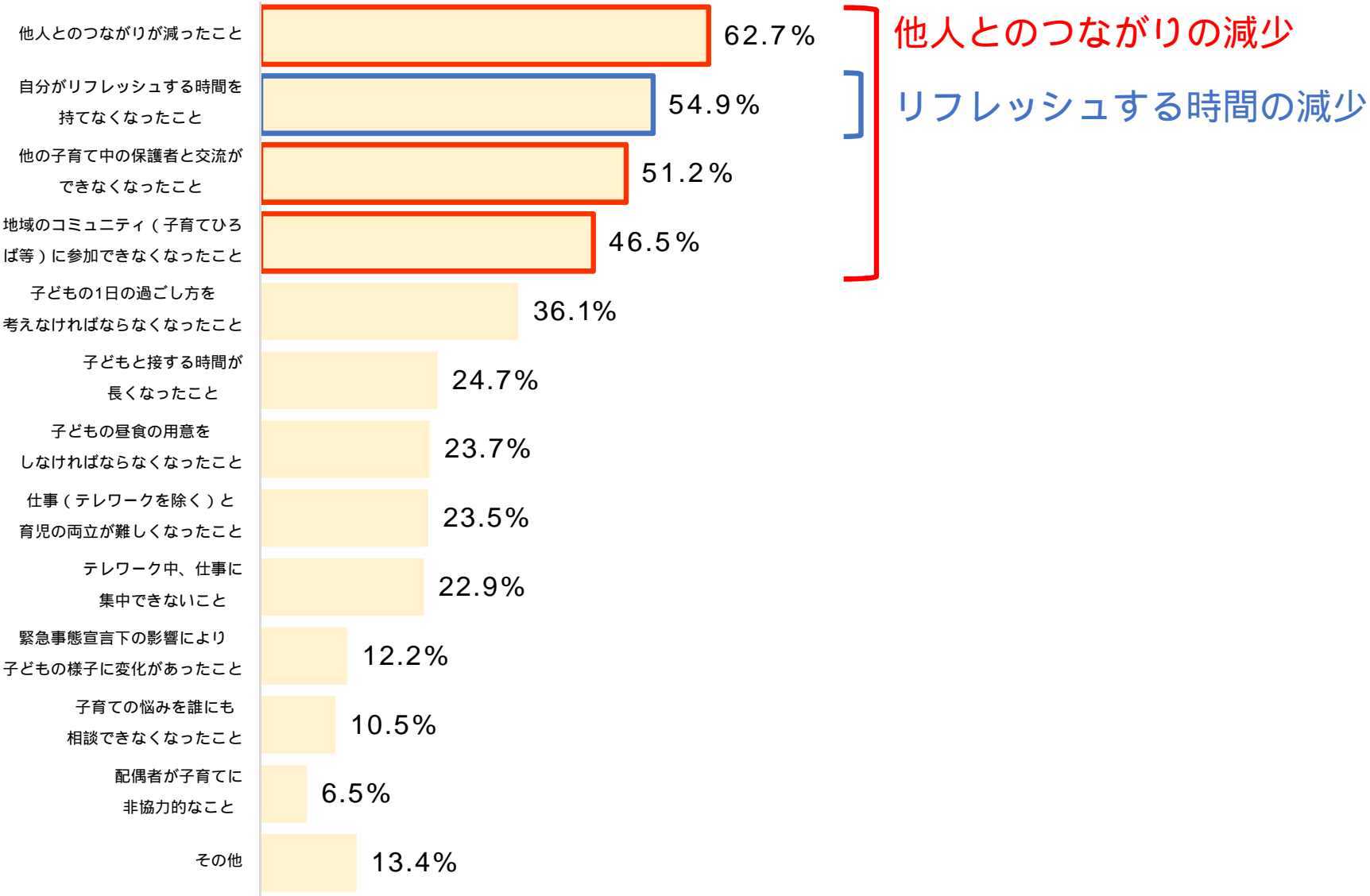
Q16 新型コロナウイルス感染症の流行前と流行後の子育てに対するストレスの変化について教えてください。[n688]



## 4 . 保護者への影響

ストレスの原因として、他人とのつながりの減少やリフレッシュする時間の減少の割合が高い。

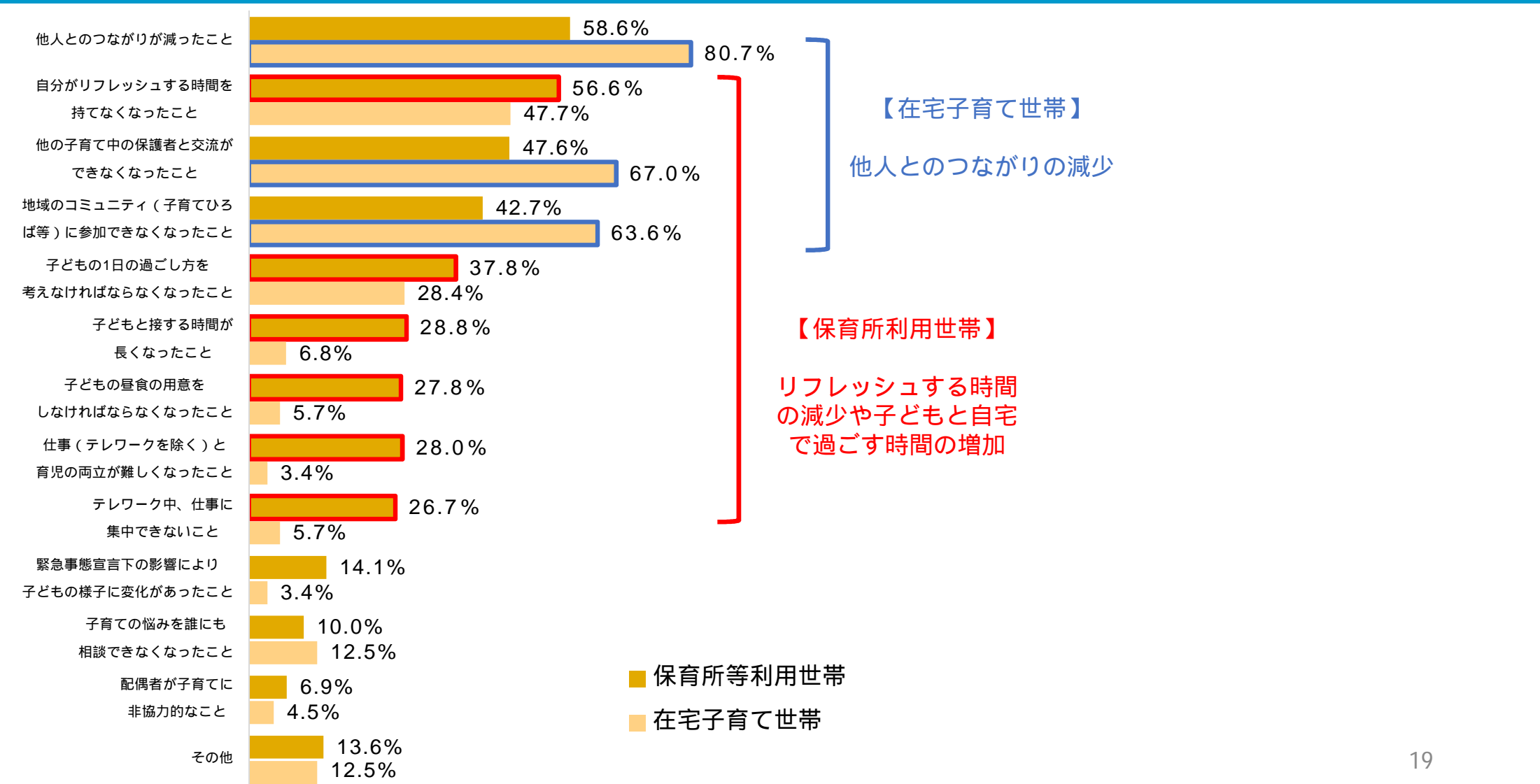
Q17 その原因として、あてはまると思うものをお答えください。（Q16で「ストレスを感じるが増えた」又は「どちらかといえば、ストレスを感じるが増えた」を選択した回答者のみ） 1 / 2 [n477]



## 4 . 保護者への影響

ストレスの原因として、在宅子育て世帯は他人とのつながりの減少が、保育所利用世帯はリフレッシュする時間の減少や子どもと自宅で過ごす時間の増加が主な原因となっている。

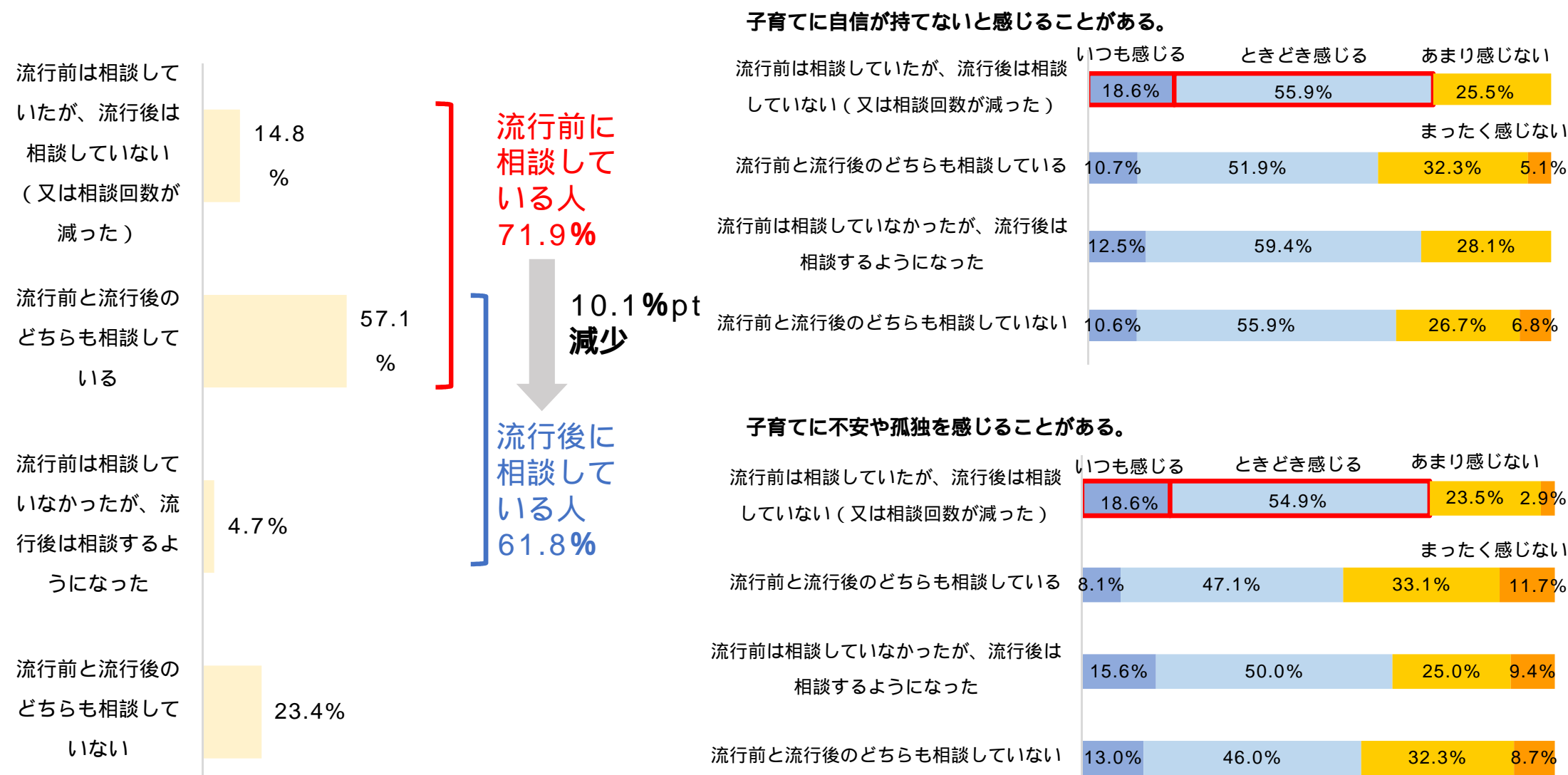
Q17 その原因として、あてはまると思うものをお答えください。（Q16で「ストレスを感じるが増えた」又は「どちらかといえば、ストレスを感じるが増えた」を選択した回答者のみ）2 / 2 [n477]



## 5 . 保護者の子育ての相談状況

コロナの流行前後で他人に相談している人の割合が10%pt減少している。流行後に相談しないようになった回答者は、他の回答者よりも自信が持てないと感じたり、不安や孤独を感じる割合が高い。

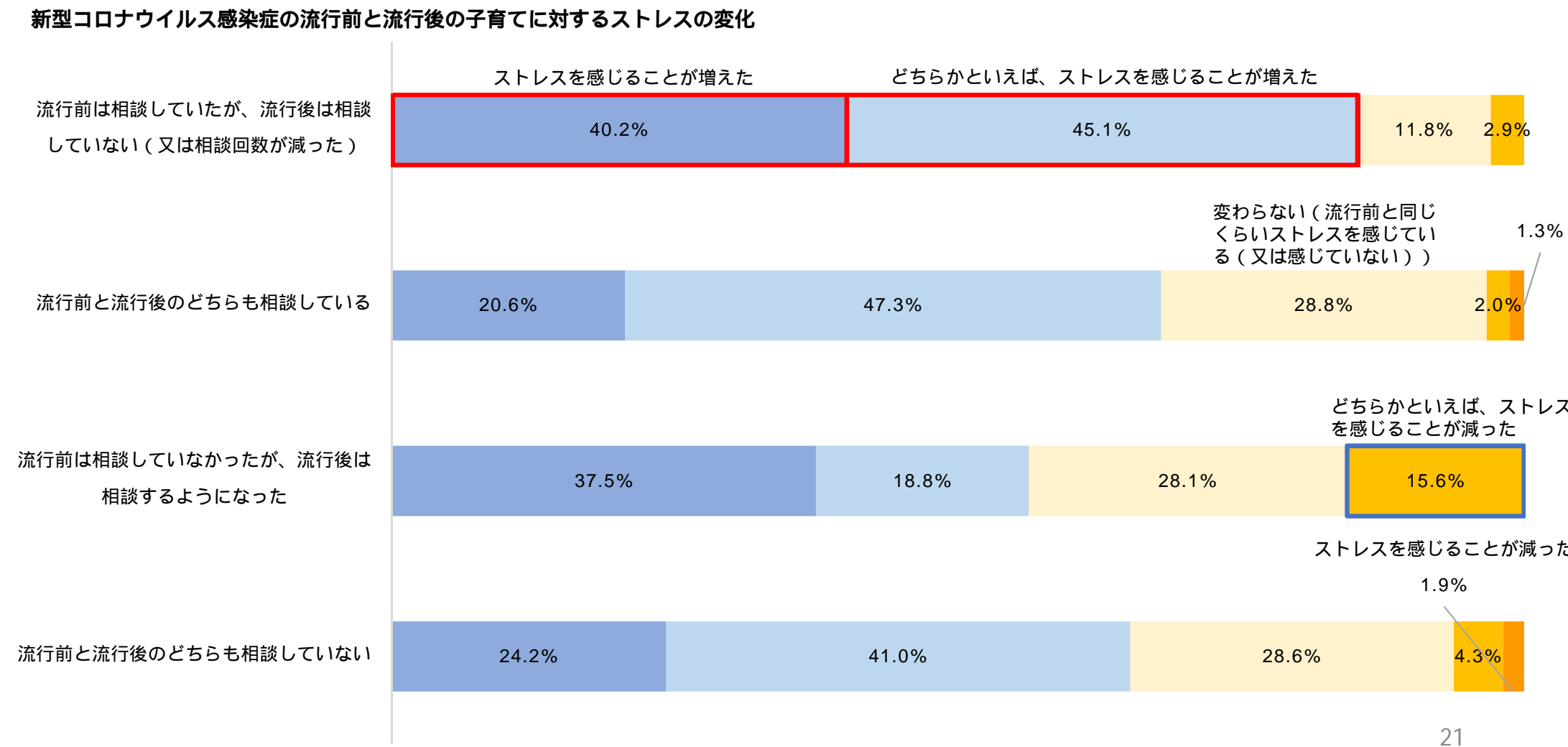
Q18 新型コロナウイルス感染症の流行前と流行後の子育てに関する他人への相談状況について教えてください。1/2 [n688]



## 5 . 保護者の子育ての相談状況

流行後に相談しないようになった回答者は他の回答者に比べてストレスを感じることが増えたと回答した人の割合が高い。流行後に相談するようになった回答者は、他の回答者よりもストレスを感じることが減ったと回答した人の割合が高い。

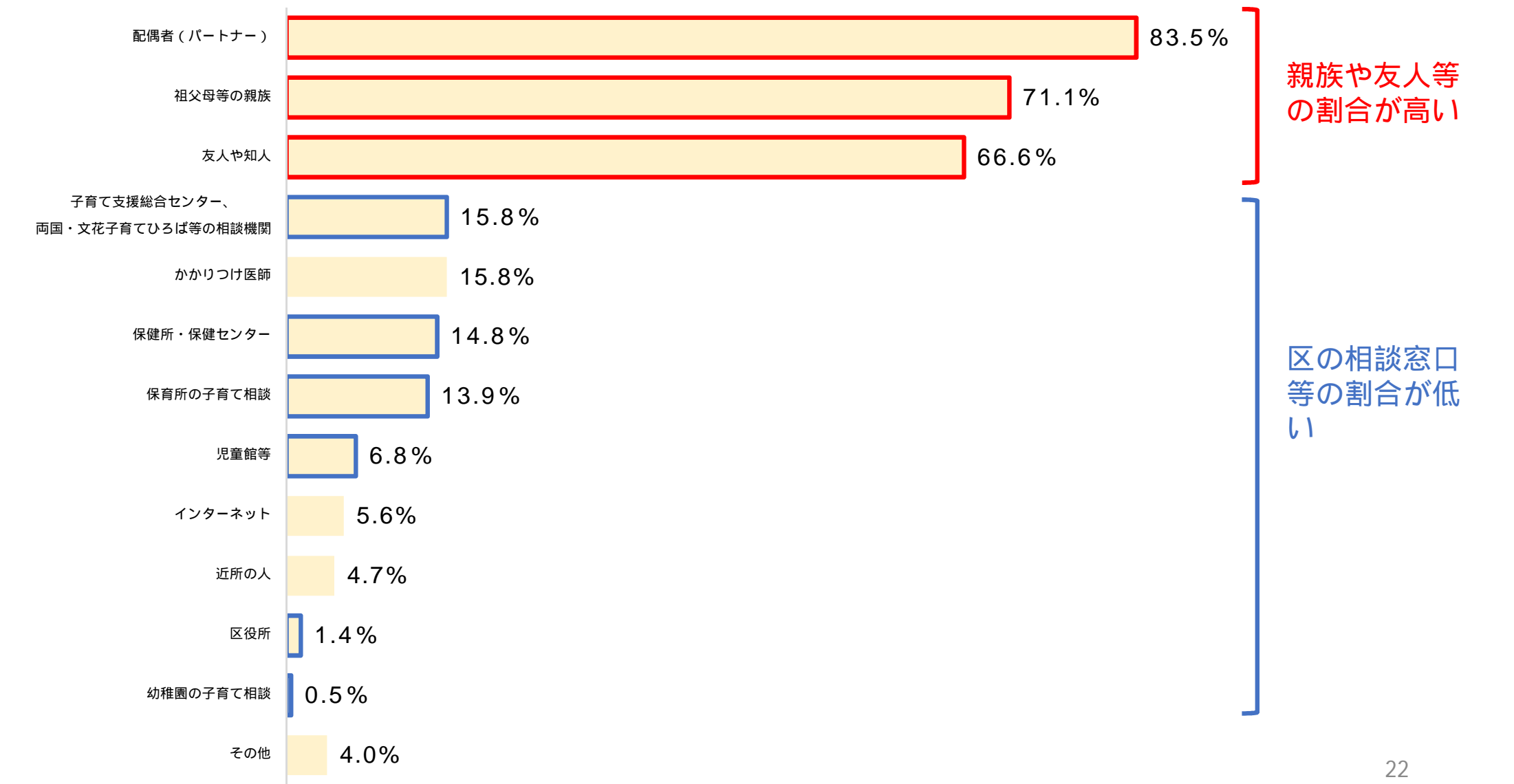
Q 1 8    新型コロナウイルス感染症の流行前と流行後の子育てに関する他人への相談状況について教えてください。 2 / 2 [n688]



## 5 . 保護者の子育ての相談状況

相談相手としては、親族や友人等の割合が高く、区の相談窓口等の割合は10%前後と低い。

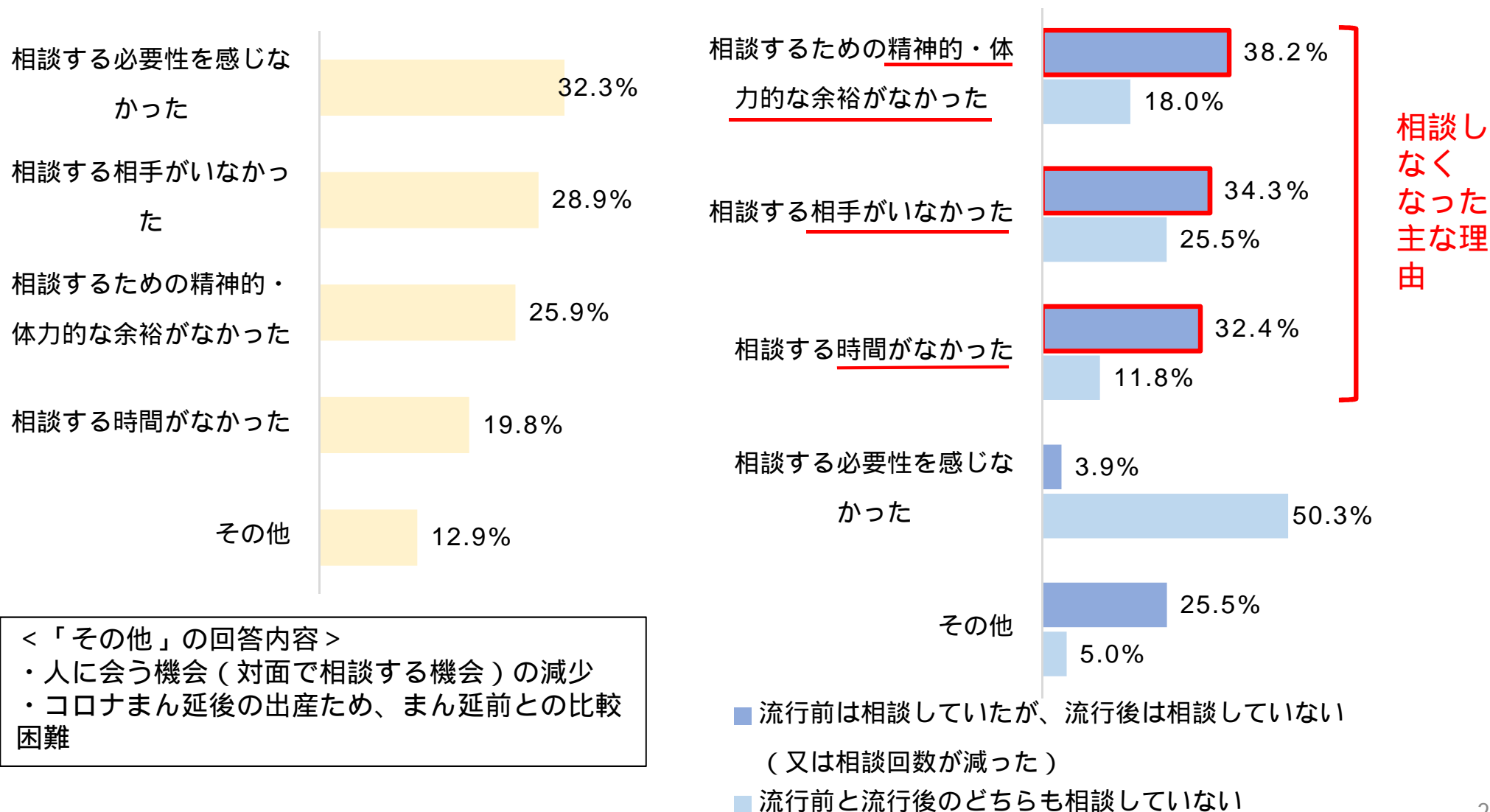
Q 1 9 相談した相手を教えてください。（ Q 1 8 で「流行前と流行後のどちらも相談している」又は「流行前は相談していなかったが、流行後は相談するようになった」を選択した回答者のみ） [n425]



## 5. 保護者の子育ての相談状況

相談しなくなった理由としては、相談相手不在や相談時間がない、精神的・体力的な余裕がないことが主な理由となっている。

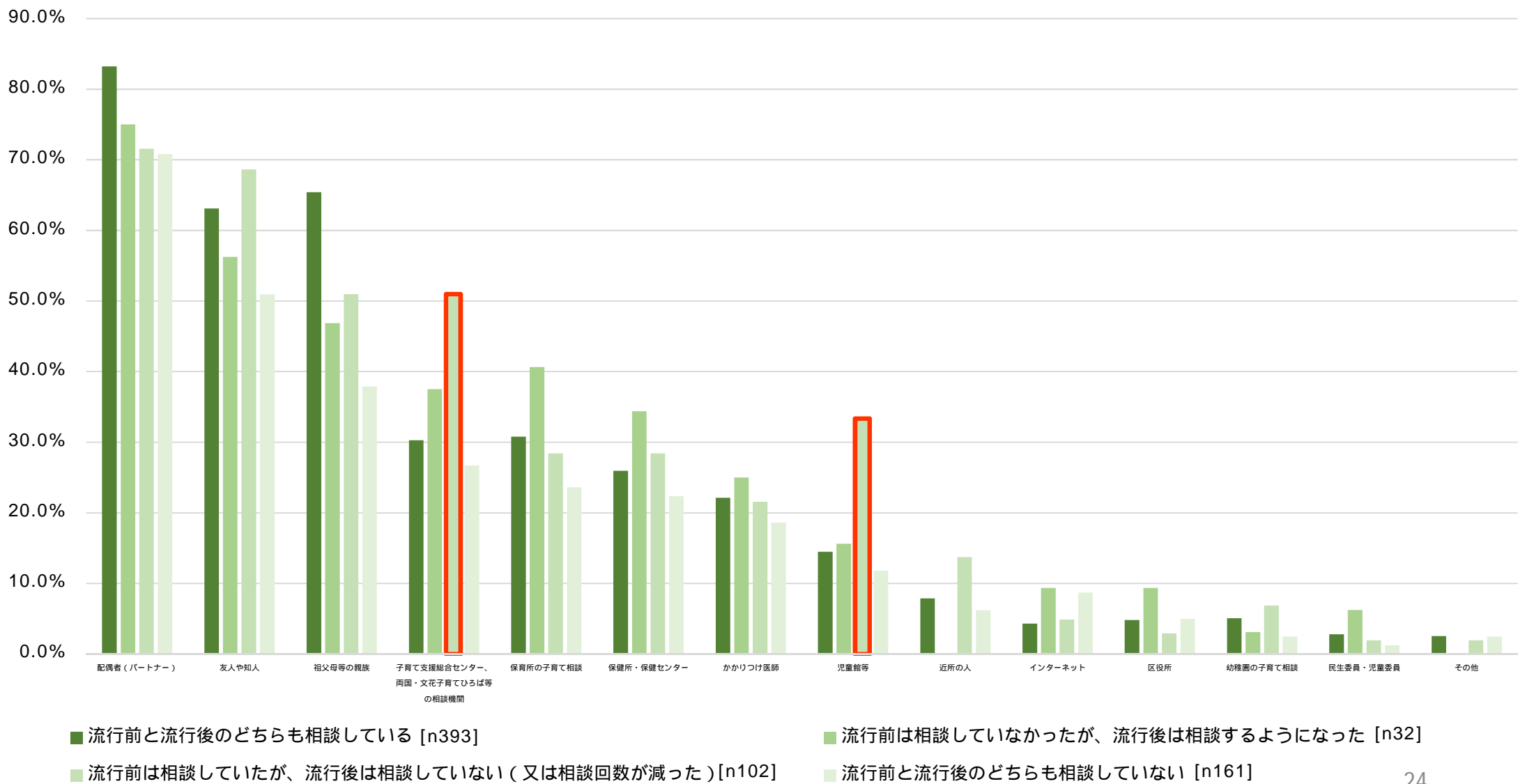
Q20 相談しなかった（又は相談回数が減った）理由を教えてください。（Q18で「流行前は相談していたが、流行後は相談していない（又は相談回数が減った）」又は「流行前と流行後のどちらも相談していない」を選択した回答者のみ）[n263]



## 5 . 保護者の子育ての相談状況

相談しないようになった回答者の希望する相談先として、区の相談窓口の割合が他の回答者と比べて高い。

Q 2 1 相談相手として望ましい相手はどなたですか。 [n688]

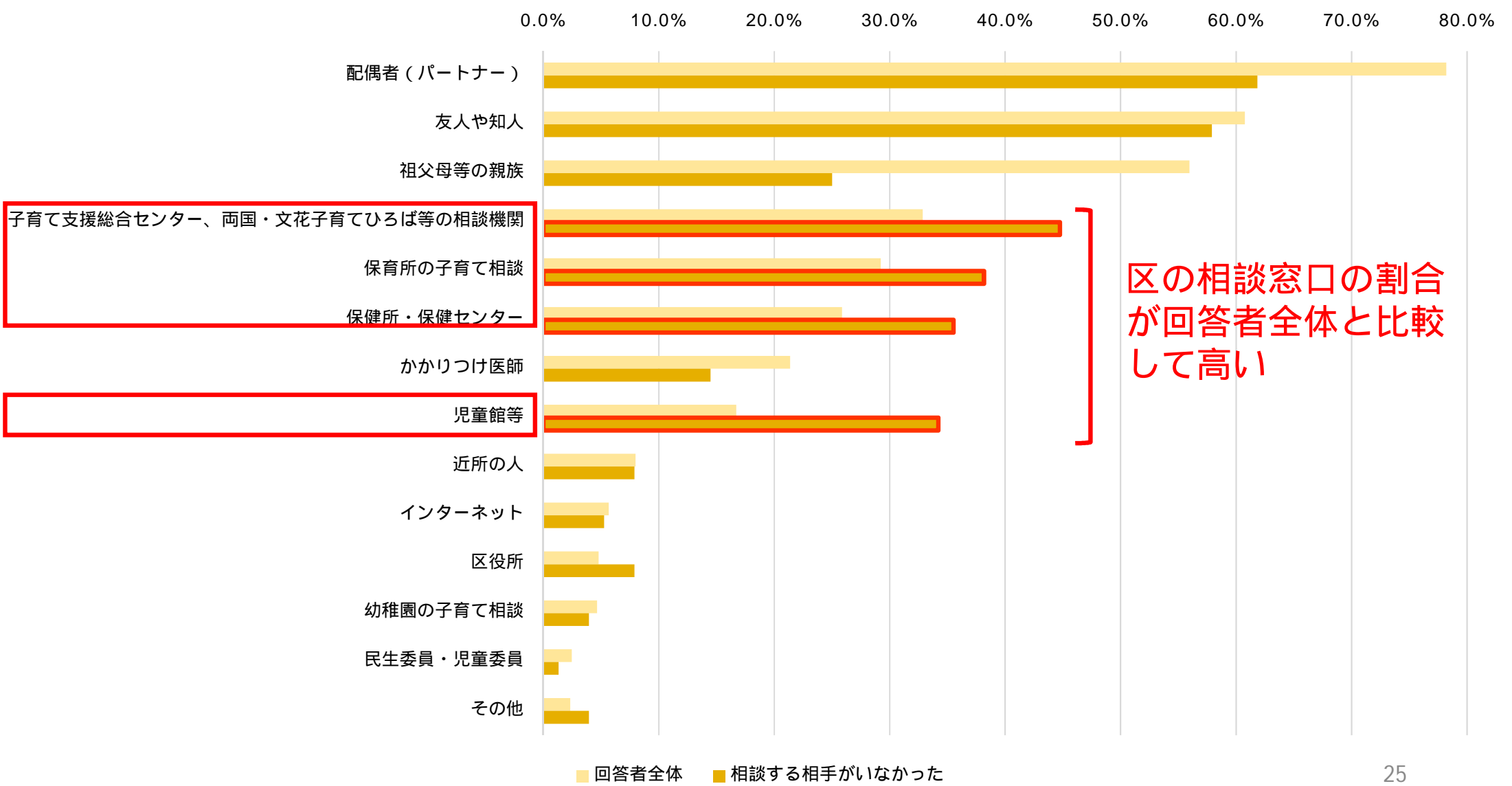




## 5 . 保護者の子育ての相談状況

相談する相手がいなかった方の希望する相談先として、区の相談窓口の割合が他の回答者と比較して高い。

Q 2 1 相談相手として望ましい相手はどなたですか。（ Q 2 0 で「相談する相手がいなかった」を選択した回答者のみ ） [n76]

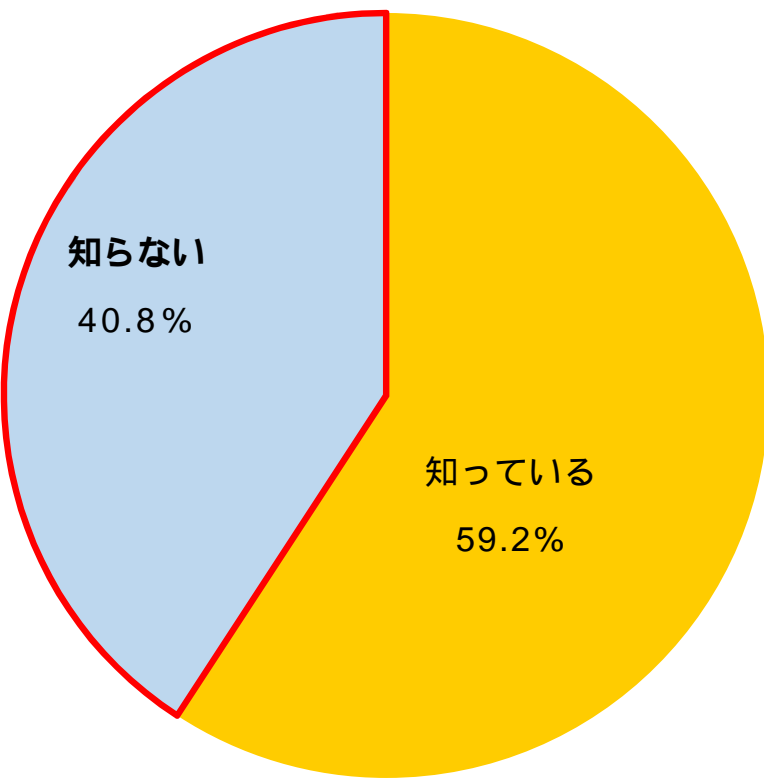
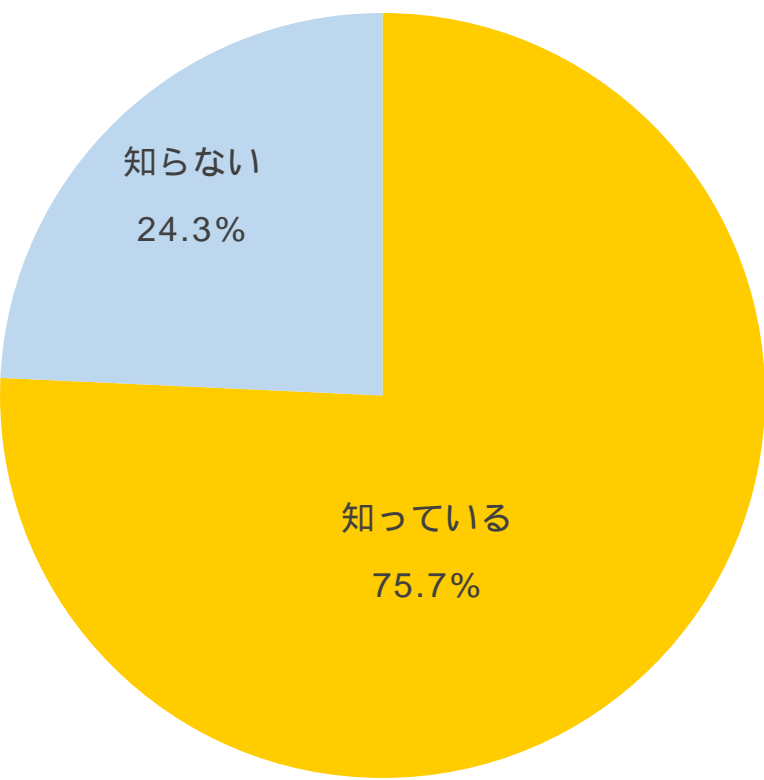


## 6．子育てに関する区の相談窓口

相談する相手がいなかった方のうち約4割が、区の相談窓口があることを知らない。

Q22 子育てに関する区の相談窓口があることを知っていますか（子育て支援総合センター、両国・文花子育てひろば等）。 [n688]

Q20で「相談する相手がいなかった」を選択した回答者のみ

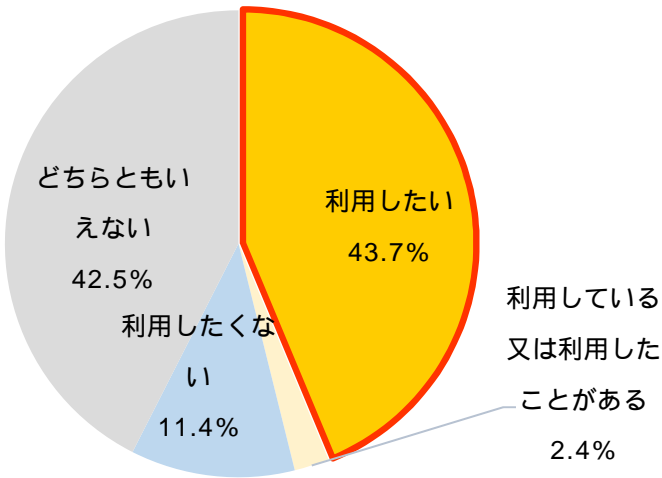
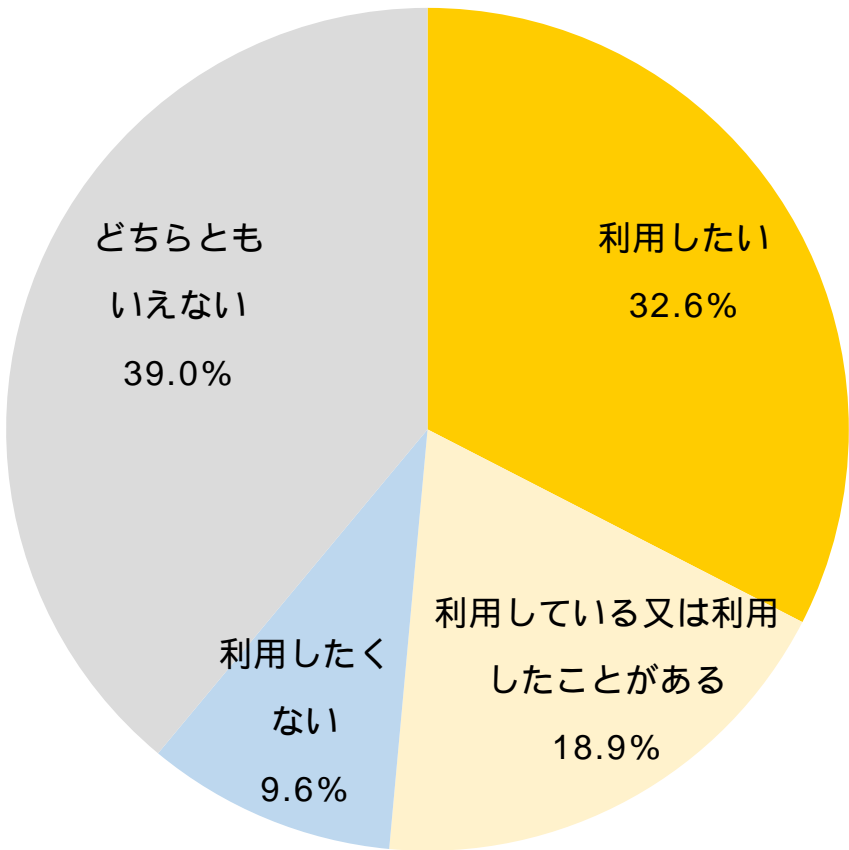


## 6 . 子育てに関する区の相談窓口

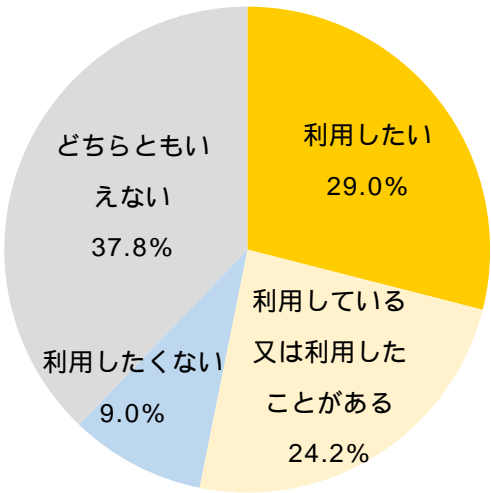
区の相談窓口があることを知らない回答者の4割が、区の相談窓口を利用したいと回答している。

Q 2 3 子育てに関する区の相談窓口を利用したいですか。 [n688]

子育てに関する区の相談窓口があることを知らない回答者



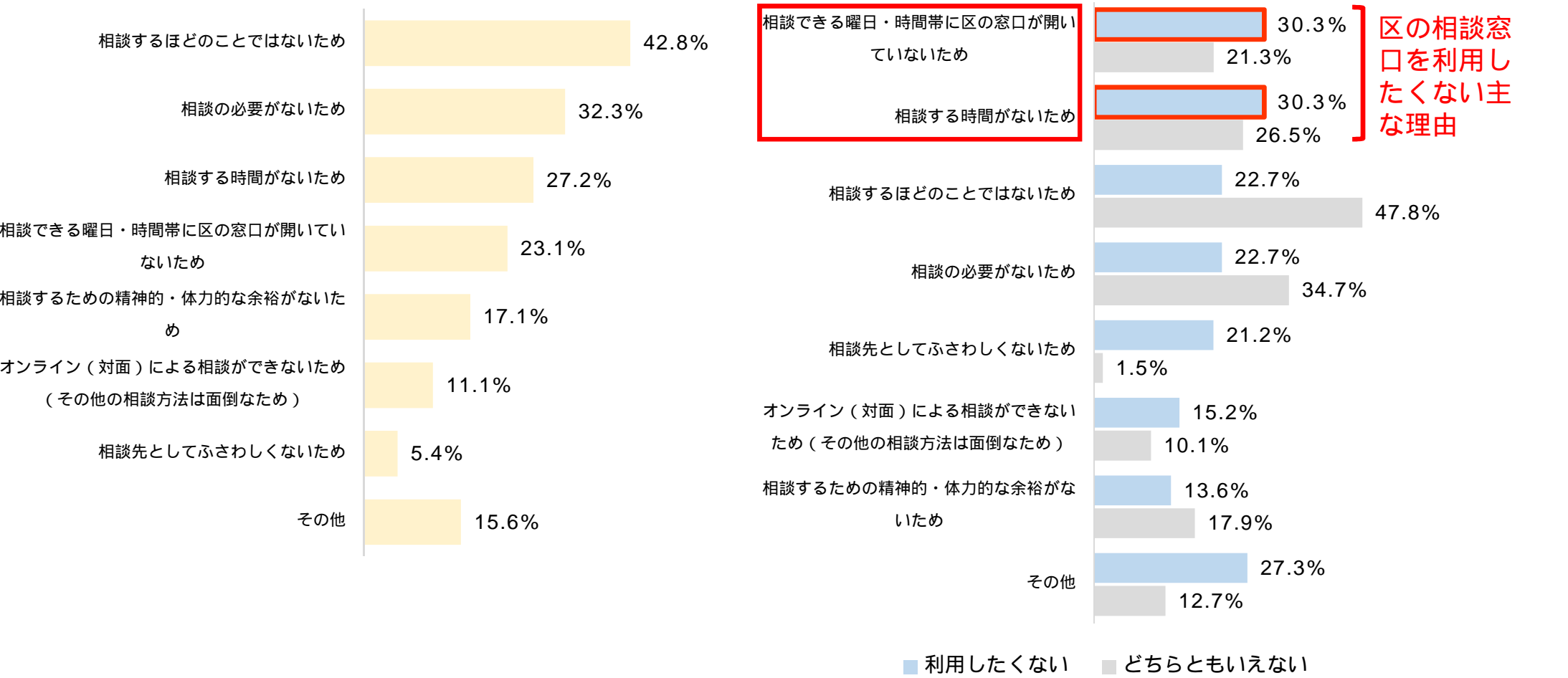
子育てに関する区の相談窓口があることを知っている回答者



6 . 子育てに関する区の相談窓口

区の相談窓口を利用したくない理由として、相談窓口の開設曜日・時間や相談するための時間がないことが主な理由となっている。

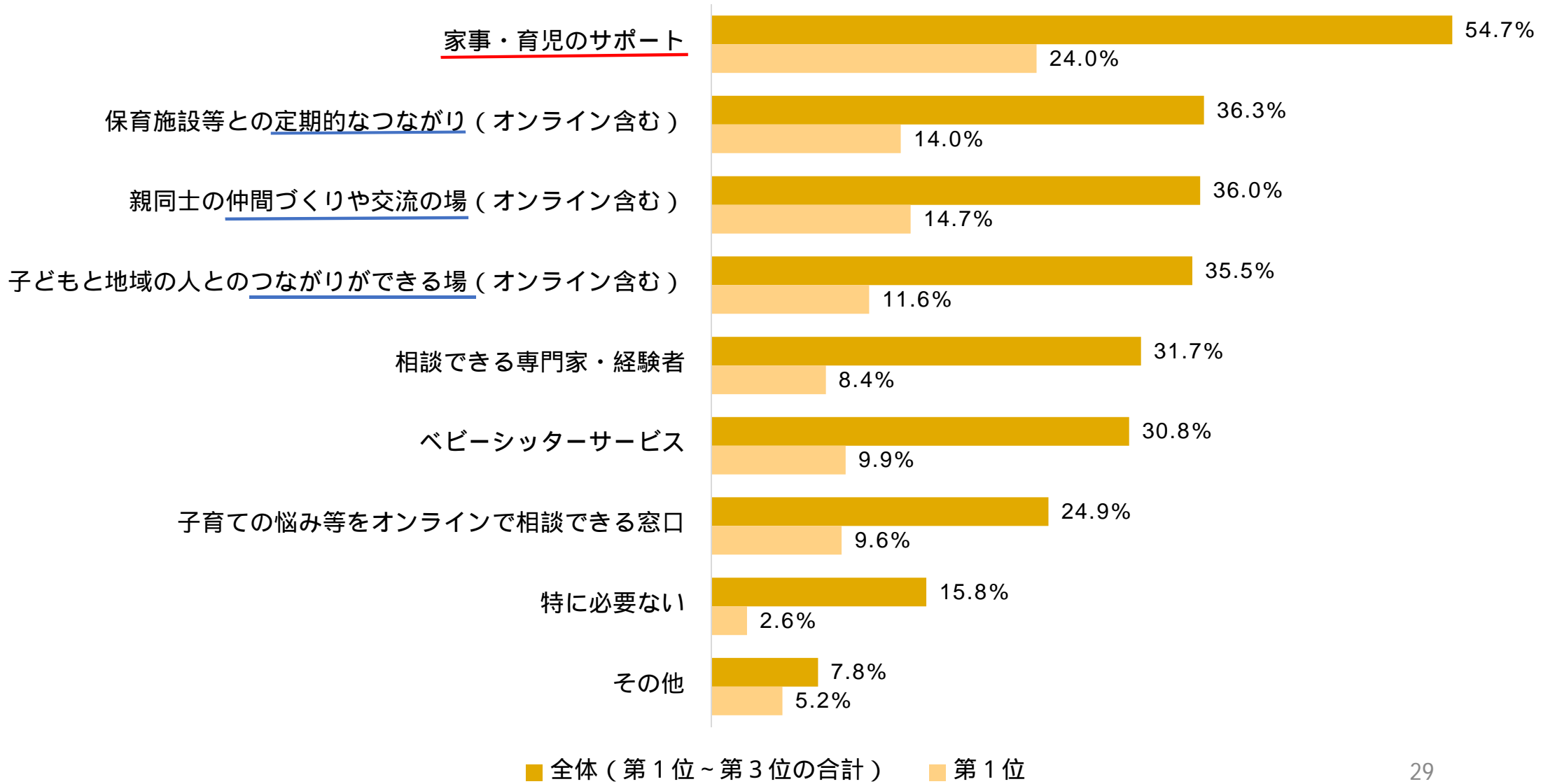
Q24 「利用したくない」又は「どちらともいえない」を選択した理由として、あてはまるものをお答えください。  
(Q23で「3 利用したくない」又は「4 どちらともいえない」を選択した回答者のみ) [n334]



## 7. 保護者への支援

必要な支援として、家事・育児のサポートが最も多く、次いで人とのつながりに関する支援が求められている。

Q25 コロナ下の子育てに関して、区に求める支援・サービスを教えてください。（優先順位が高い順に、最大で3つ） 1 / 2 [n688]

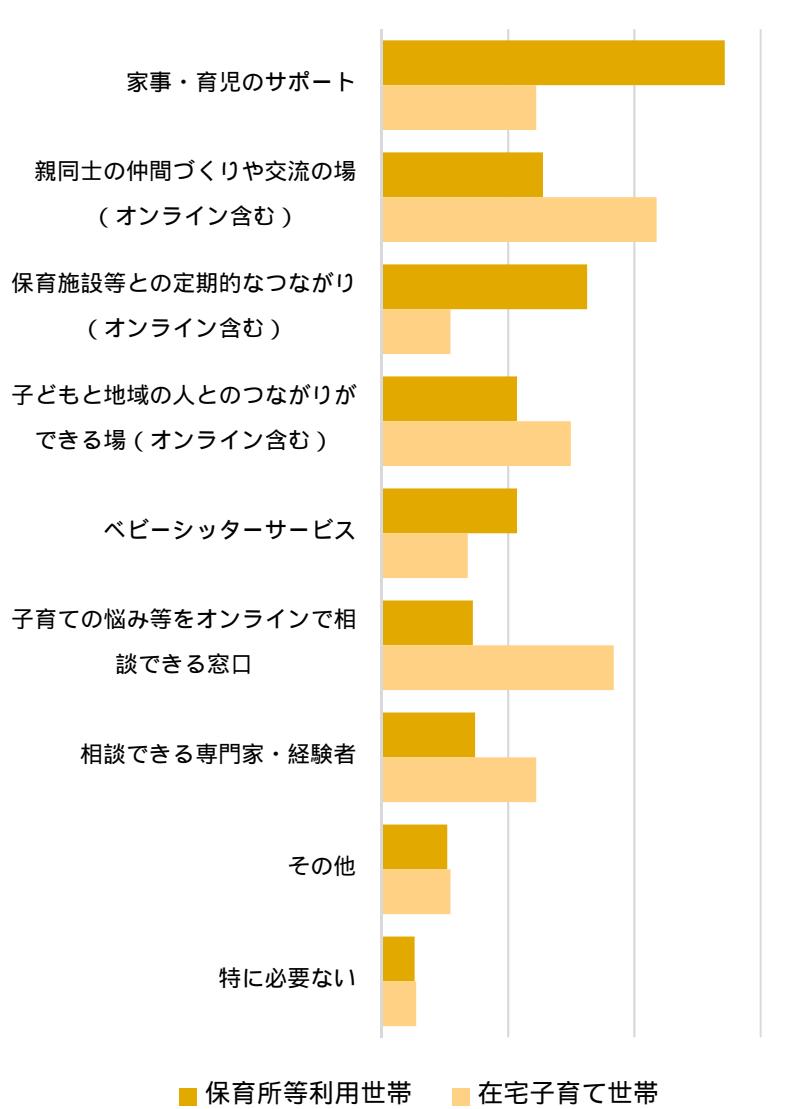


## 7. 保護者への支援

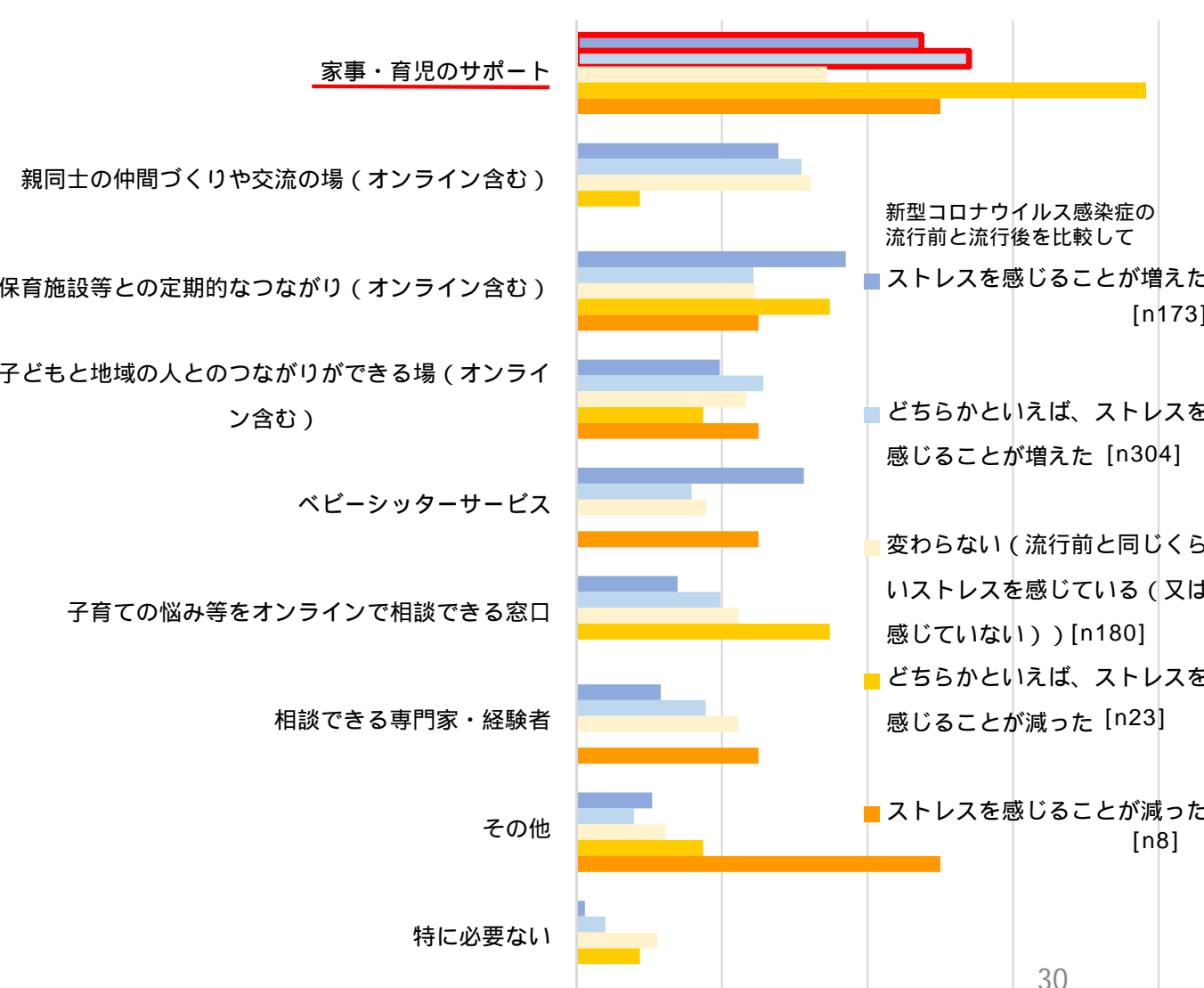
ストレスが増えたと回答している方には、家事・育児のサポートが最も求められている。

Q25 コロナ下の子育てに関して、区に求める支援・サービスを教えてください。（優先順位が高い順に、最大で3つ）2 / 2 [n688]

世帯別・第1位内訳



ストレスが増えた方・第1位内訳



# 報告内容まとめ

## 子どもへの影響

- ・子どもの心身への悪い影響の原因として、「人とのつながりの減少」と「身体を動かす機会の減少」が主な原因となっている。

## 子どもへの支援

- ・区に求める子どもへの支援として、「先生や友達とのコミュニケーションを取る仕組み」が最も高く、次いで「家での遊びや運動の情報提供」が求められている。
- ・保育所等利用世帯には「保育施設とのつながりに関する支援」が求められており、在宅子育て世帯には「自宅での過ごし方に関する情報提供」が求められている。

## 保護者への影響

- ・回答者の約7割が子育てに対するストレスが増加している。在宅子育て世帯よりも保育所等利用世帯の方が、ストレスを感じる割合が高い。
- ・ストレスの原因として、「他人とのつながりの減少」や「リフレッシュする時間の減少」の割合が高い。
- ・コロナの流行前後で他人に相談している人の割合が10%減少している。流行後に相談しないようになった回答者は、他の回答者よりも「自信が持てない」と感じたり、「不安や孤独」を感じる割合が高い。
- ・流行後に相談しないようになった回答者は、他の回答者に比べて、「ストレスを感じるが増えた」と回答した人の割合が高い。流行後に相談するようになった回答者は、他の回答者よりも「ストレスを感じるが減った」と回答した人の割合が高い。

## 保護者の子育ての相談状況

- ・コロナ流行後に相談しなくなった理由としては、「相談相手不在」や「相談時間がない」、「精神的・体力的な余裕がない」ことが主な理由となっている。
- ・相談する相手がいなかった方の希望する相談先として、区の相談窓口の割合が他の回答者と比較して高い。
- ・相談する相手がいなかった方のうち約4割が、区の相談窓口があることを知らない。
- ・区の相談窓口があることを知らない回答者の4割が、区の相談窓口を利用したいと回答している。
- ・区の相談窓口を利用したくない理由として、「相談窓口の開設曜日・時間が合わないこと」や「相談するための時間がない」ことが主な理由となっている。

## 保護者への支援

- ・保護者への必要な支援として、家事・育児のサポートが最も多く、次いで人とのつながりに関する支援が求められている。
- ・ストレスが増えたと回答している保護者には、家事・育児のサポートが最も求められている。